

2025 CALEDONIA-5 リテーラー組立マニュアル

cervélo

velo

目次


重要な情報。	3
ツールと部品リスト。	4
Caledonia-S フレームの特徴。	5
カレドニア-S 部品リスト.....6	
小さな部品。	7
ST31 および ST32 ステム。	9
HB13 ハンドルバー。	11
HS002 ヘッドセット.....12	
フレームの準備。	13
フォークの準備と取り付け。	15
ブレーキホース配線.....17	
電線の配線と設置.....19	
SP24 シートポストの組み立てと取り付け。	21

DI2バッテリーの取り付け.....22	
SB05A インフレーム収納ボックス。	23
SB05 インフレームストレージボックス。	25
タイヤ/リムクリアランス.....27	
マッドガードの取り付け。	28
エアロスルーフアックスルの取り付け。	31
Caledonia-S 自転車使用目的。	33
Caledonia-S トルク仕様。	34
Caledonia-S フレームの降ろし。	36
Caledonia-S フレームジオメトリ。	37
機械的安全性チェック。	38
Cerveloカスタマーサポート.....40	

重要な情報

このマニュアルは、Cervélo正規販売店がCervélo Caledonia-5の組み立てと調整を行うためのガイドです。このマニュアルでは、Cervéloコンポーネントの取り付け、およびシフトおよびブレーキ制御ラインの配線に関する手順のみを概説しています。このマニュアルに記載されている専用部品は、Cervéloまたはその正規販売代理店からのみ入手可能です。


指定された部品を使用せず、本組み立て手順に従わない場合、走行中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。本マニュアルは、サードパーティの部品メーカーが提供する組み立ておよびサービス手順に代わるものではなく、組み立て作業者は訓練を受けたプロの自転車整備士であることを前提としています。<https://www.probma.org/> をご覧ください。


**WARNING**

この製品には 1 つ以上のボタン電池またはコイン電池が含まれています。

摂取の危険性: 摂取すると死亡または重傷を負う可能性があります。

- ボタン電池やコイン電池を飲み込むと、わずか 2 時間で内部化学火傷を引き起こす可能性があります。
- 新しい電池も使用済みの電池も子供の手の届かないところに保管してください。
- 電池を飲み込んだり、体内に挿入された疑いがある場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



**WARNING**










この製品には、カリフォルニア州で癌、先天性欠損症、またはその他の生殖への危害を引き起こすことが知られている化学物質が含まれています。

ツールと備品のリスト

このマニュアルでは、Caledonia-5 バイクの調整手順をいくつか説明しています。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。Cervélo は、すべての組み立ておよび調整手順を Cervélo 正規販売店にご依頼いただくことを強くお勧めします。

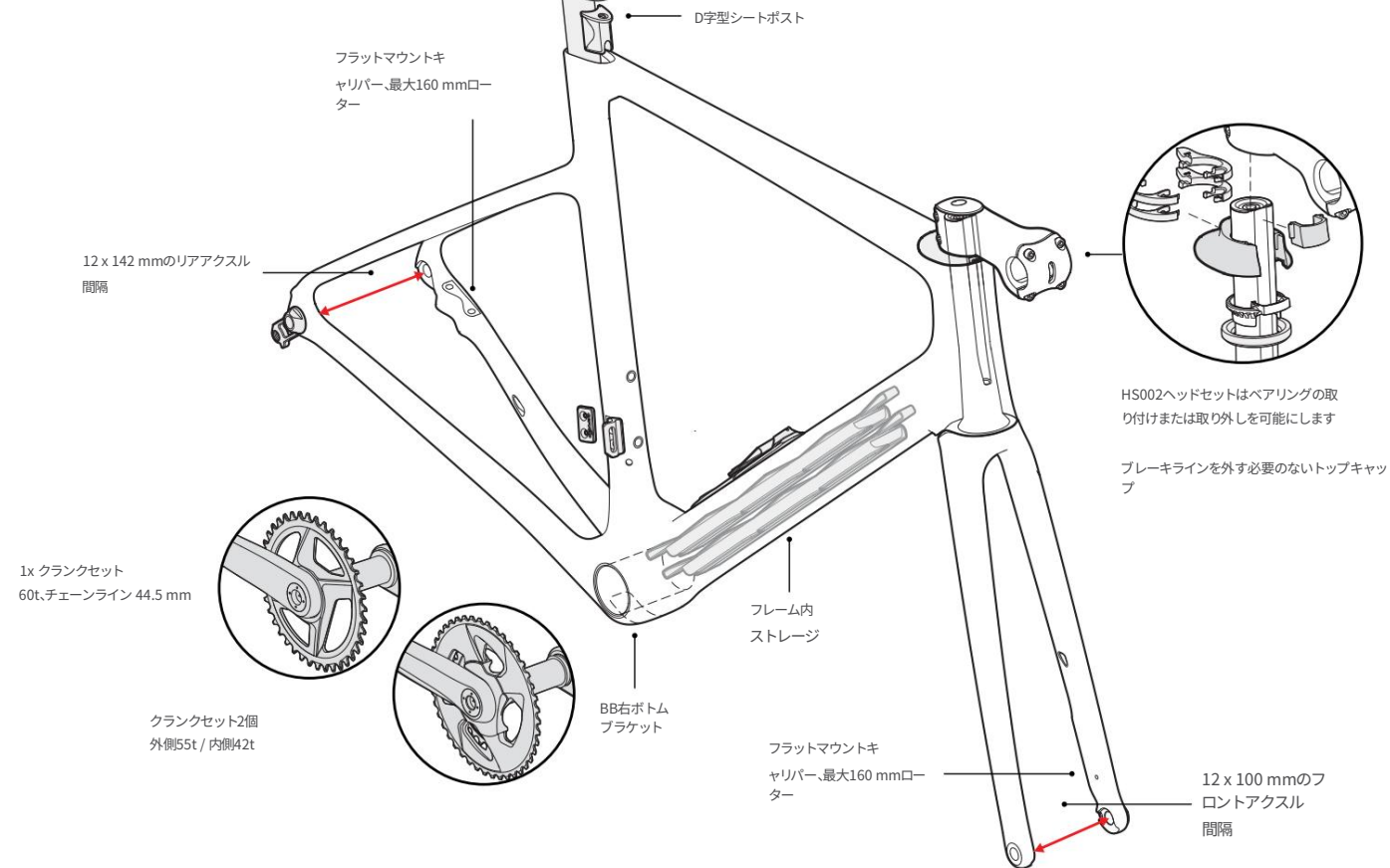
注: Shimano や SRAM などの非独自コンポーネントはすべて、地元の販売代理店から入手できます。

注意:このマニュアルは、Cervélo 自転車ユーザー マニュアルを補完するために作成されたもので、コンポーネント製造元から提供された組み立ておよび設置手順 (この自転車に付属) を補完することを目的としています。

ツール	
	自転車用ワークスタンド (シートポストで自転車を固定するタイプ、またはフォークマウント付きのプロ仕様のスタンド)
	2.5 N・m ~ 15 N・m および/または 10 N・m ~ 60 N・m の範囲のトルクレンチおよびアダプタ:
	六角ヘッドインサート: 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm、6mm、8mm、10mm
	オープンエンドレンチ: 7mm、8mm、10mm、17mm
	ケーブルカッター
	ペンチ
	プラスドライバーとマイナスドライバー
	ペダルレンチ
	ボトムブラケット/ベアリングプレス

ツール	
	内部ケーブル配線ツール
	ブレーキローター/ボトムブラケットロックリングツール
	油圧ブレーキブリードキット
	イソプロピルアルコール
	Di2ワイヤーツール - シマノ
	高品質の自転車用グリース (Park Tool HPG-1または同等品)とカーボンアセンブリコンパウンド (Dynamic Assembly 複合炭素または同等品)
	鋸切断ガイド (Park Tool SG-7.2または同等品)
	弓のこ (カーボンおよびアルミニウム専用ブレード付き)

CALEDONIA-5 フレームの特徴



カレドニア-5 部品リスト

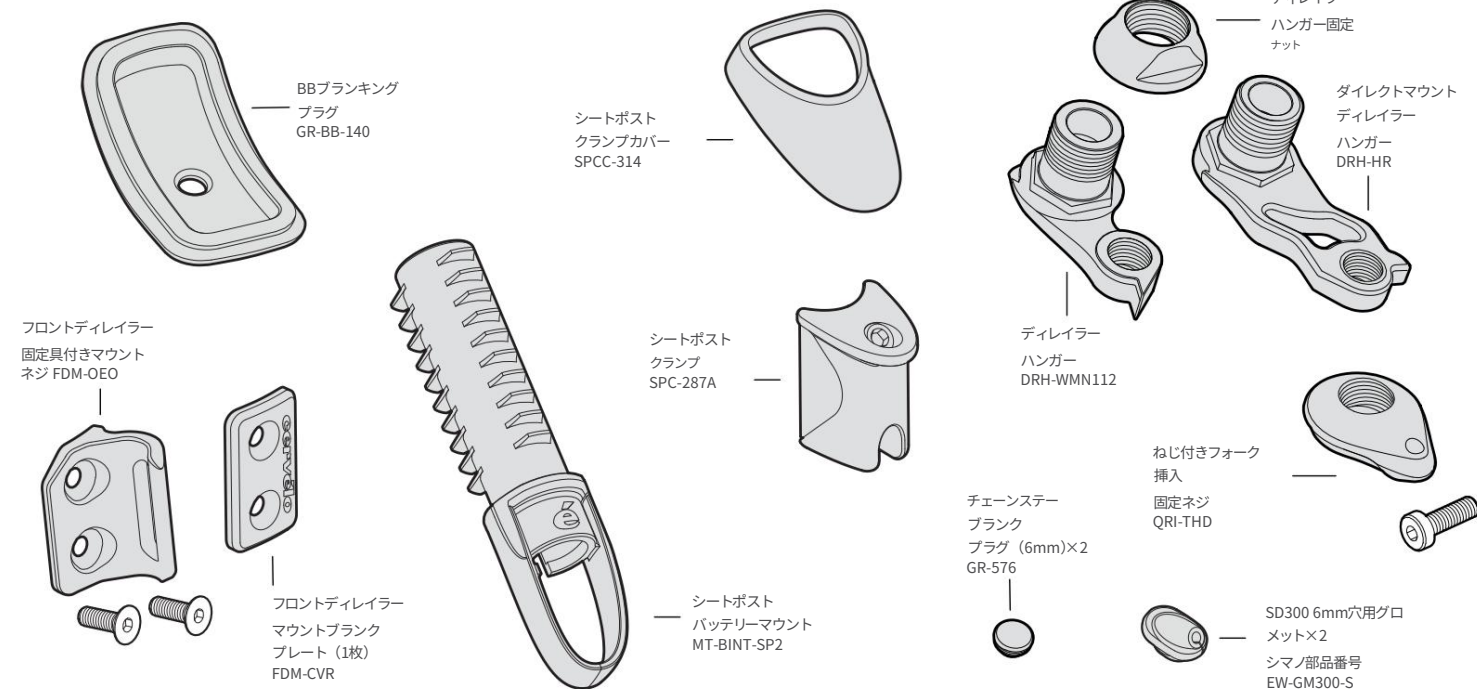
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
D字型フォーク 圧縮プラグ	FKI-CL005-517A
HS002 ヘッドセット スプリットリング SR-466	
HS002 ヘッドセットベアリング トップキャッププラグ	PL-807
HS002 ヘッドセットベアリング トップキャップキット (22 mmと7 mm)	BC-808
HS002 ヘッドセットベアリング マイクロシム×3	HS-865
ヘッドセットベアリング 1-1/4" 45° x 45°	HS-082
ヘッドセットベアリング 1-1/2" 36° x 45°	HS-110
サーヴェロ フロントエアロスルー 取り外し可能な車軸 ハンドル	QRA-AERO2-F
取り外し可能なハンドル サーヴェロ エアロ スルーアクスル	QRA-AERO2-HNDL
サーヴェロ リアエアロスルー 取り外し可能な車軸 ハンドル	QRA-AERO2-R

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
SB05A ダウンチューブストレージ プルタブ付きドア	SB-SB05-DR-V2
SB05 フレーム内ストレージ ロール	SB-SB05-BG
BBブランキングプラグR5	GR-BB-140
BBケーブルガイド/カバー	BBG-0E0
6 mm ブランクプラグ	GR-576
シマノ SD300 6mm穴用グロメット	EW-GM300-S
フロントディレイラーマウント 固定ネジ	FDM-0E0
フロントディレイラーマウント ブランキングプレート	FDM-CVR
ねじ付きフォークインサート 固定ネジ	QRI-THD
リアディレイラーハンガー付き 固定ナット	DRH-WMN112
シマノ ダイレクトマウント RDH 固定ナット付き	DRH-HR

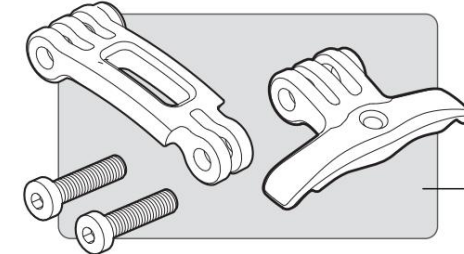
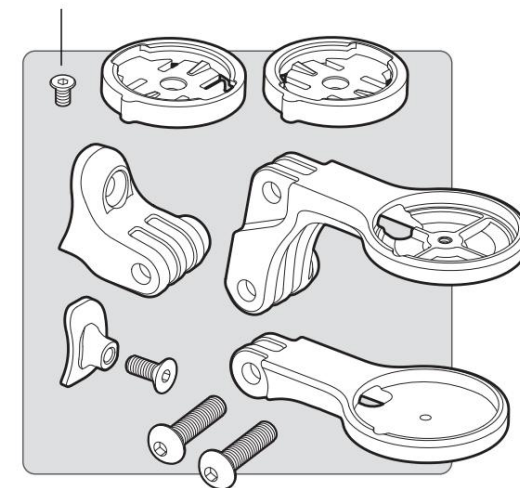
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
シートポストクランプカバー SPCC-314	
シートポストクランプ 組み立て	SPC-287A
ST31ステム	9ページ参照
ST32ステム	9ページ参照
ST31 / ST32 ステム スペーサーキット	SK-032
アクセサリマウントキット フロント810	MT-LM-F-810
アクセサリマウント キットリア	MT-LM-R-003
SP24 カーボンシートポスト (ヘッド付き)	SP-SP24-ZERO -B SP-SP24-15MM -B
シートポストバッテリーマウント MT-BINT-SP2	
フェンダーマウントアセンブリ 844A	MTA-844A
チェーンステープロテクター	プロ-CS-ASP

小さな部品

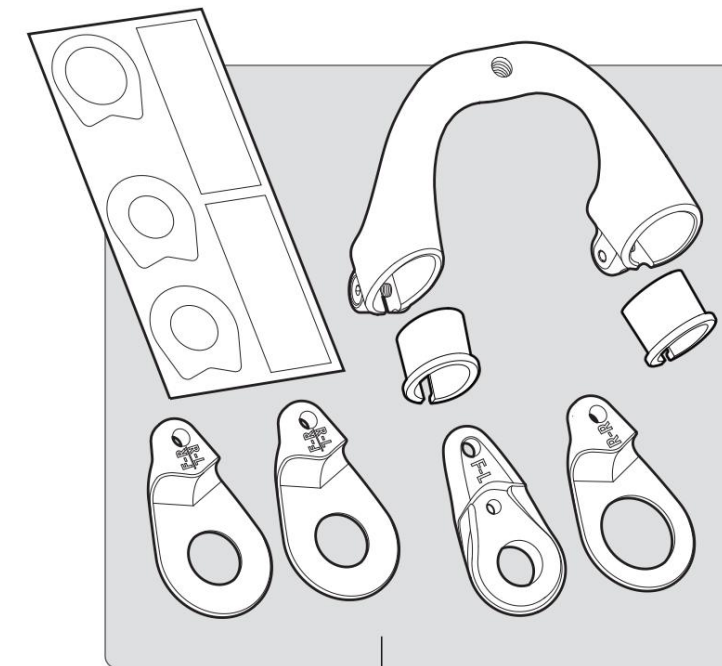
Caledonia-5フレームは、電子制御と油圧制御の両方に対応できるよう設計されており、変速方式やブランドを問わず、あらゆる変速システムをシームレスに統合できます。そのためには、以下に示すパーツが必要です。自転車に装着されているグループセットによっては、すべてのパーツが使用されるわけではありません。



アクセサリマウント
キットフロント810
MT-LM-F-810

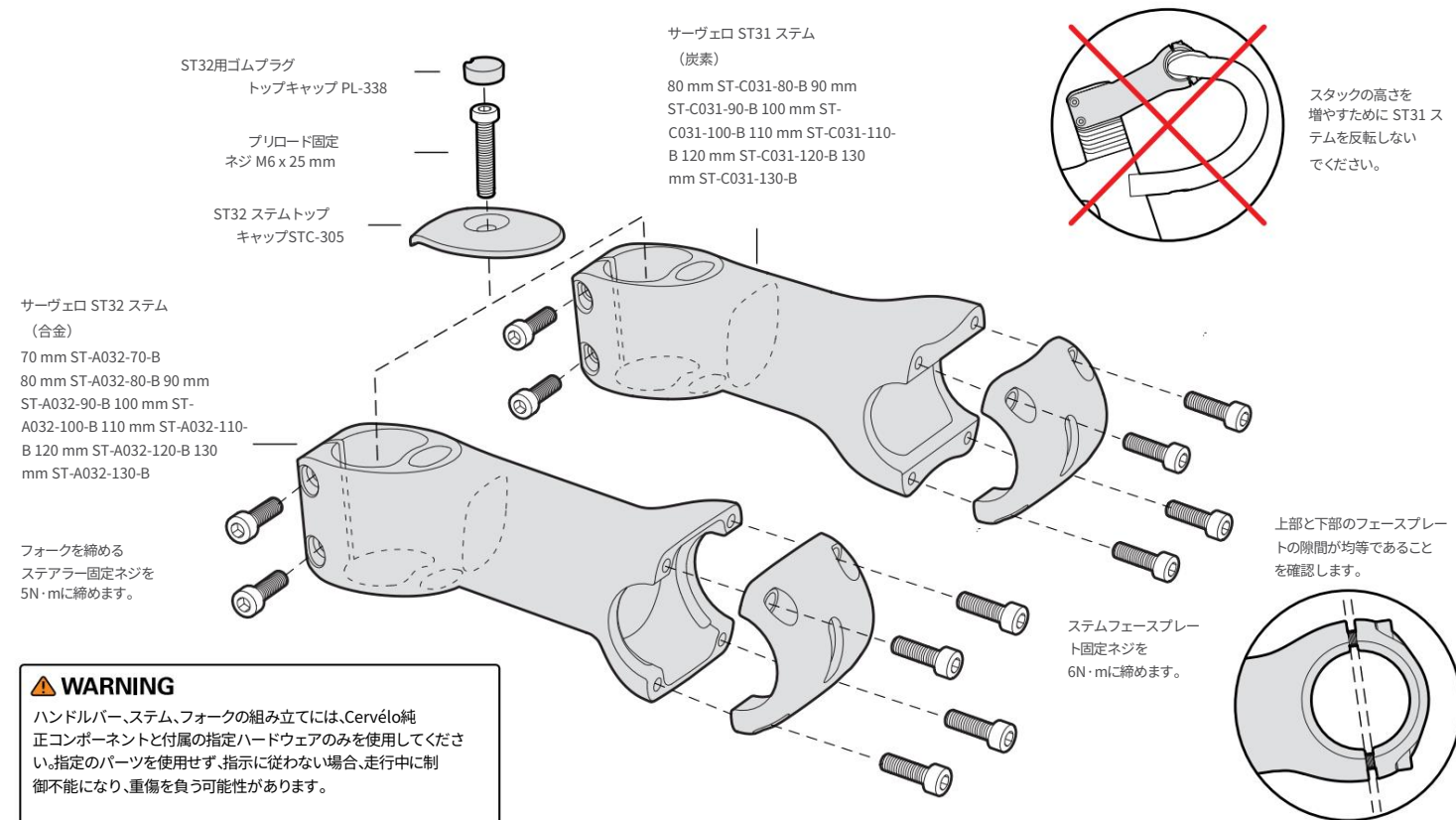


アクセサリマウント
キットリア
MT-LM-R-003



フェンダーマウント
アセンブリ844A
(MTA-844A)

ST31およびST32ステム

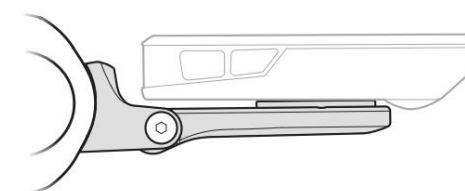
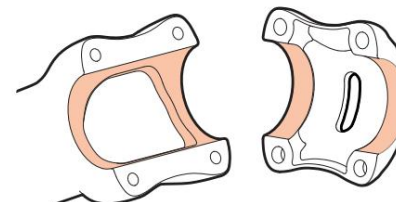
**WARNING**

ハンドルバー、ステム、フォークの組み立てには、Cervélo純正コンポーネントと付属の指定ハードウェアのみを使用してください。指定のパーツを使用せず、指示に従わない場合、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。

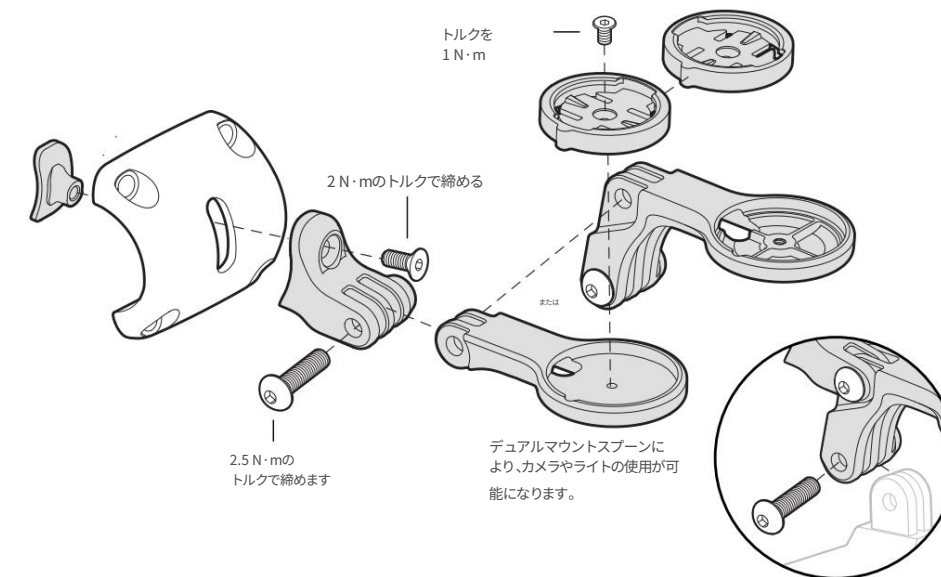
ST31ステムとカーボンハンドルバーの取り付け

1. ステム本体とフェースプレートがハンドルバーのクランプ領域に接触する表面 (下図参照) にカーボン アセンブリ コンパウンドを塗布します。
2. ハンドルバーをステム本体の中央に配置する
フェースプレートを取り付け、すべてのフェースプレート固定ネジを指で締めて固定します。
3. 上部および下部のステムとフェースプレートの隙間が均等になるまで、星型パターンに従ってフェースプレート固定ネジを均等に締めます。
4. トルクレンチを使用して、最大 6 N・m まで星型パターンで最終締め付けを実行します。

● カーボンアセンブリコンパウンド



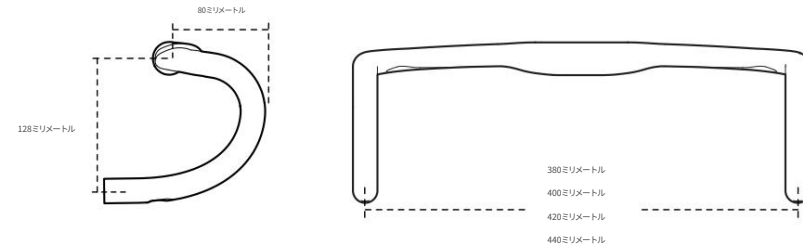
アクセサリ マウント キット フロント 810 (MT-LM-F-810) を使用すると、サイクリング コンピュータをステムの上面の下に配置することができます。Garmin および Wahoo コンピュータ用のコンピュータ マウントアダプタが付属しています。



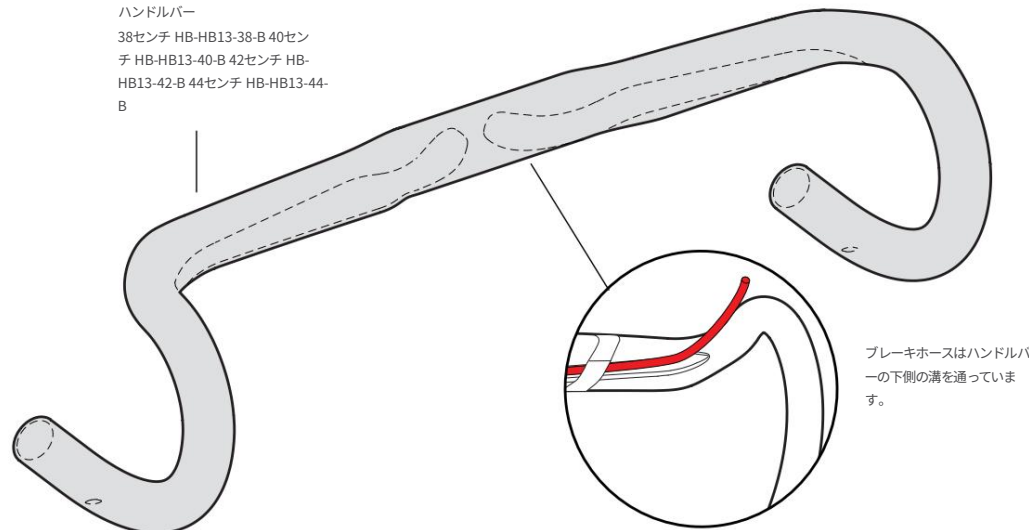
HB13 ハンドルバー

WARNING

ハンドルバー、ステム、フォークの組み立てには、Cervelo純正コンポーネントと付属の指定ハードウェアのみを使用してください。指定のパーツを使用せず、指示に従わない場合、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。



サーヴェロ HB13
ハンドルバー
38センチ HB-HB13-38-B 40センチ
HB-HB13-40-B 42センチ HB-
HB13-42-B 44センチ HB-HB13-44-
B



ブレーキホースはハンドルバーの下側の溝を通っています。

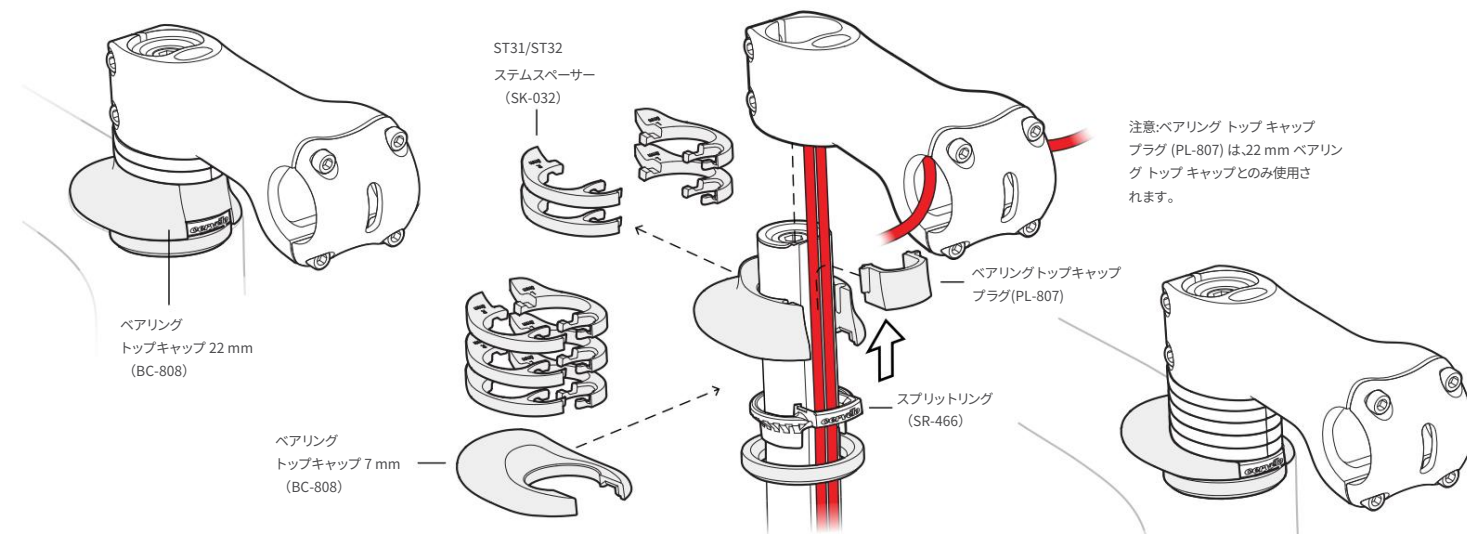
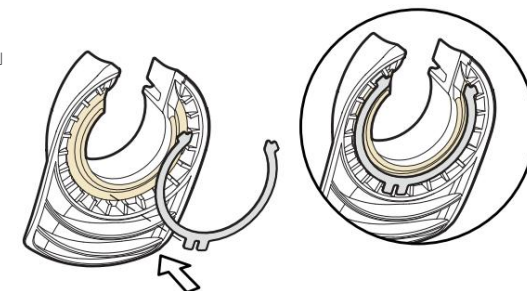
HS002 ヘッドセット

HS002ヘッドセットは、インストールまたはブレーキラインを外すことなくベアリングトップキャップを取り外すことができます。

22 mm と 7 mm のベアリング トップ キャップを切り替えるには、フォーク ステアラーからステムを取り外す必要があります。ブレーキ ラインに余裕を持たせるために、ブレーキ キャリパーを一時的に取り外す必要がある場合があります。

ベアリングトップキャップ (BC-808)とフレームが接触している場合は、ベアリングトップキャップの下側にグリースを塗布し、必要な数のマイクロシム (HS-865)を取り付けます。

● グリース

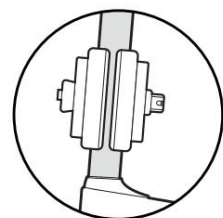


フレームの準備



WARNING

トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。



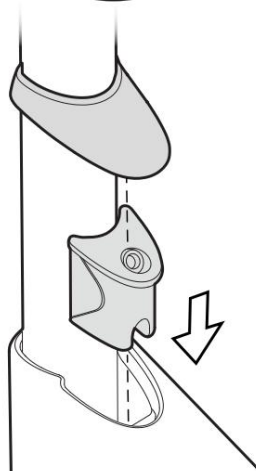
WARNING

固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。

シートポストクランプの内部表面全体にたっぷりとグリースを塗ります。



グリース

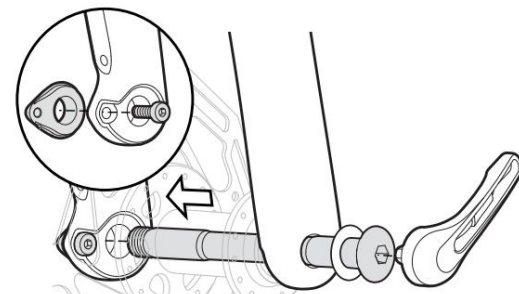


1. シートポストクランプカバー (SPCC-314)をシートポストにスライドさせます。
2. フレームにカーボンペストを塗るシートポストをフレームに挿入します。
3. シートポストとシートポストクランプ (SPC-287A)をフレームに挿入します。
4. シートポストを希望の高さに調整し、シートポストクランプを最大 8 N・m に締め付けます。
5. シート クランプ カバーを下にスライドさせて、シートポスト クランプの上に取り付けます。

WARNING

トリミングが必要な場合、最終的な長さは、フレーム内にシートポストが最低 70 mm 残るか、シートポストに示されている最小挿入寸法のいずれか大きい方になるよう考慮する必要があります。

この要件を満たさない場合、保証ポリシーの対象外となるフレームの損傷、またはライダーの重傷や死亡につながる可能性があります。



1. 軽くグリースを塗ったM4固定具ネジ、ねじ付きフォークインサート (QRI-THD)と固定ネジを取り付け、軽く締めます。

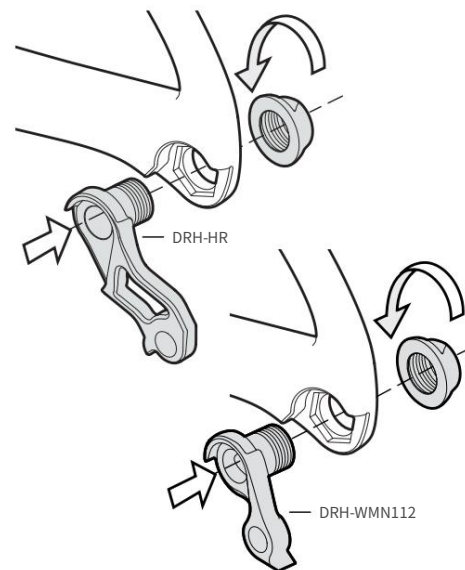
2. ホイールを取り付けない状態で、車軸を取り付け、フランジがフォークのドロップアウト面に接触し、フォークブレードを圧縮しない程度まで締めます。

3. 固定ネジを3N・mに締めます。

4. 車軸を取り外し、ホイールを取り付けます。
車軸を再度取り付け、12~15 N・m で締めます。

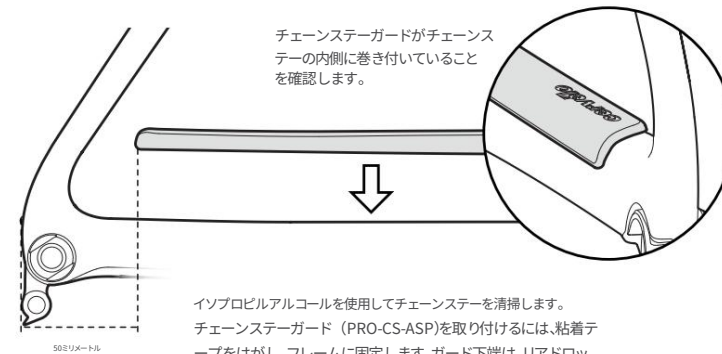
5. 車軸とホイールを取り外し、固定ネジを3 N・mに再度締め付けます。

リアディレイラーハンガー固定ナットに軽くグリースを塗布し、ダイレクトマウントリアディレイラーハンガー (DRH-SDM)またはリアディレイラーハンガー (DRH-WMN112)を指で締め付けます。最終締め付けはリアホイールを取り付けた後に行います。



WARNING

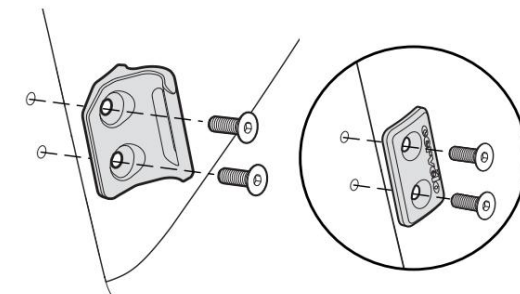
後輪を取り付けていない状態で、リアディレイラーハンガーアセンブリに最終トルクをかけないでください。ディレイラーの位置がずれ、変速不良が発生する可能性があります。



チェーンステーガードがチェーンステーの内側に巻き付いていることを確認します。

イソプロピルアルコールを使用してチェーンステーを清掃します。チェーンステーガード (PRO-CS-ASP)を取り付けるには、粘着テープをはがし、フレームに固定します。ガード下端は、リアドロップアウト後端から約50mm前方に来るようにしてください。

フロントディレイラーマウント (FDM-0E0) を取り付け、固定ネジが3 N・mのトルクで締め付けられていることを確認します。
1x システムの場合は、フロント ディレイラーマウント ブランキング プレート (FDM-CVR) と交換します。



フォークの準備と取り付け

1. ベアリングポケットにグリスを塗り、上部および下部のヘッドセットベアリングをフレームに取り付けます。
2. フレームに付属のフォークを完全なヘッドセット、必要なスペーサー、ステムを備えたヘッドチューブ。
3. 必要最低限の圧力をかける
アセンブリが完全に固定されていることを確認してください。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。
4. フォークを取り外し、最初の印から4mm下の位置にフォークステアラーチューブの明確な印を付けます。この印がステアラーチューブのカットラインとなるため、この測定値が正しいことを確認してください。
5. フォークステアラーをトリミングするには、カーボンの切断に適したのこぎりや切断ガイドのみを使用してください。
6. D型コンプレッションプラグを挿入し、締め付けて固定します。ステムを取り付けた後で最終トルクをかけてください。
7. 下部ベアリングをフォークステアラーの上に置き、ヘッドチューブの下からフレームに挿入します。
8. 上部ベアリング、スプリットリング、ベアリングキャップ、スペーサー、ステムの順にステアラーの上に取り付けます。
ステムトップキャップは取り付けられません。
9. トルクレンチを使用して圧縮プラグを 8 N・m に締めます。

10. ステムトップキャップとプリロード固定ネジをステムに取り付けます。プリロードネジは、ヘッドセットの遊びを完全になくし、ベアリングがスムーズに回転する程度に締め付けます（通常1〜2 N・m）。

11. ステムとフォークの固定ネジを 5 N・m で締めます。最大。

WARNING

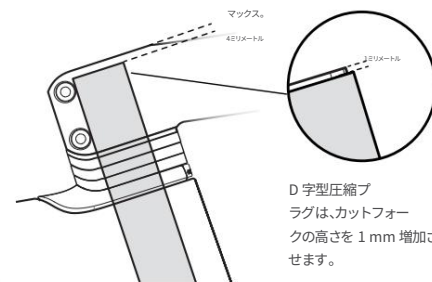
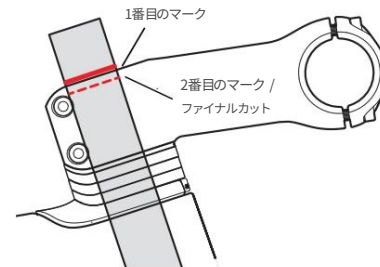
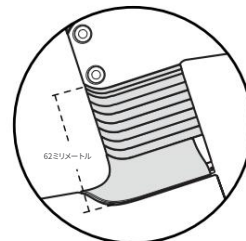
炭素複合材料の切断時に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。

WARNING

ステアラーチューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる可能性のある故障が発生する可能性があります。

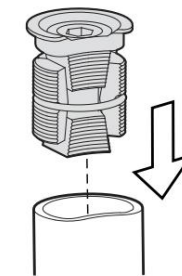
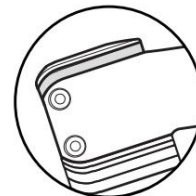
WARNING

ベアリング トップ キャップ (40 mm ステム スペーサー + 22 mm ベアリング トップ キャップ) を含めたスペーサーの合計最大高が 62 mm を超えないようにしてください。



CAUTION

ステム上のスペーサーの合計が 5 mm を超えないようにしてください。



D型コンプレッションプラグ (FKI-CL005-517A) をフォークステアラーに取り付け、軽く締め付けます。ステムとスペーサーを取り付けた後、8 N・m のトルクで締め付けます。

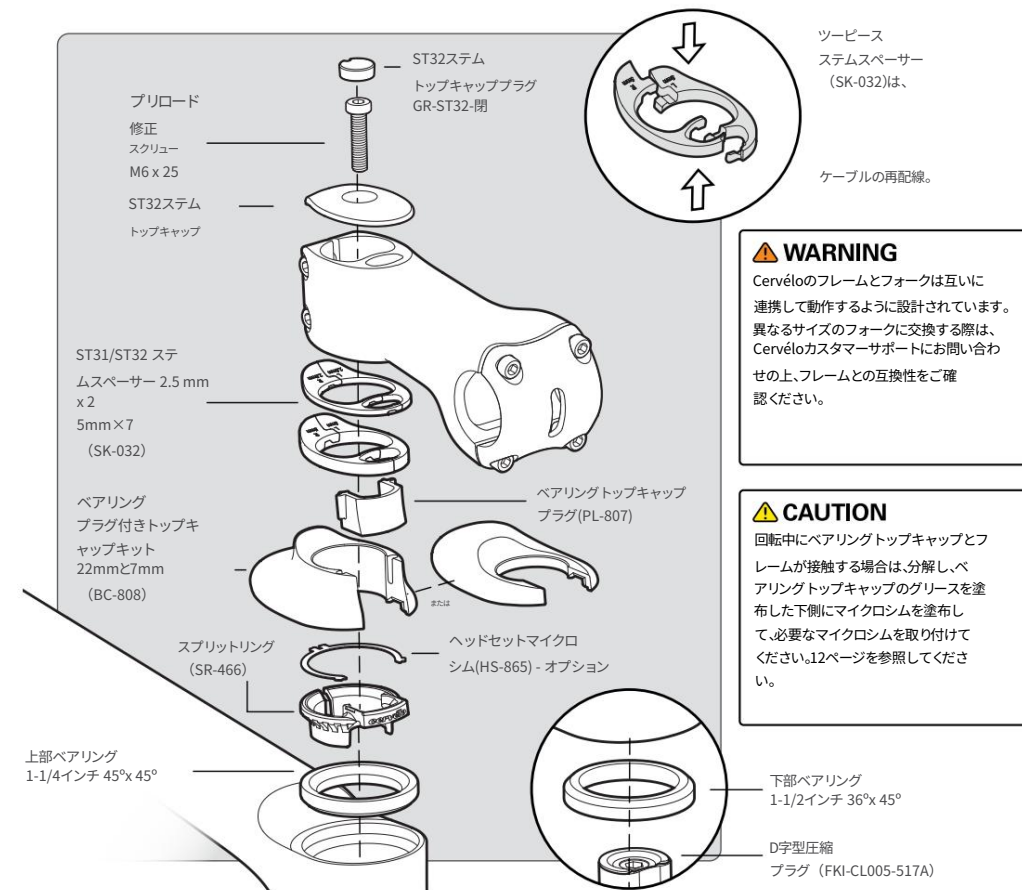


CAUTION

コンプレッションプラグの構成部品は、自転車の左右で異なります。部品を誤って再組み立てすると、システムのプリロードが失われる可能性があります。正しい組み立て方法については、画像を参照してください。

WARNING

コンプレッションプラグは推奨最大トルク 8 N・m を超えて締め付けられません。8 N・m を超える締め付けが必要な場合は、Cervéloカスタマーサポートまでご連絡ください。



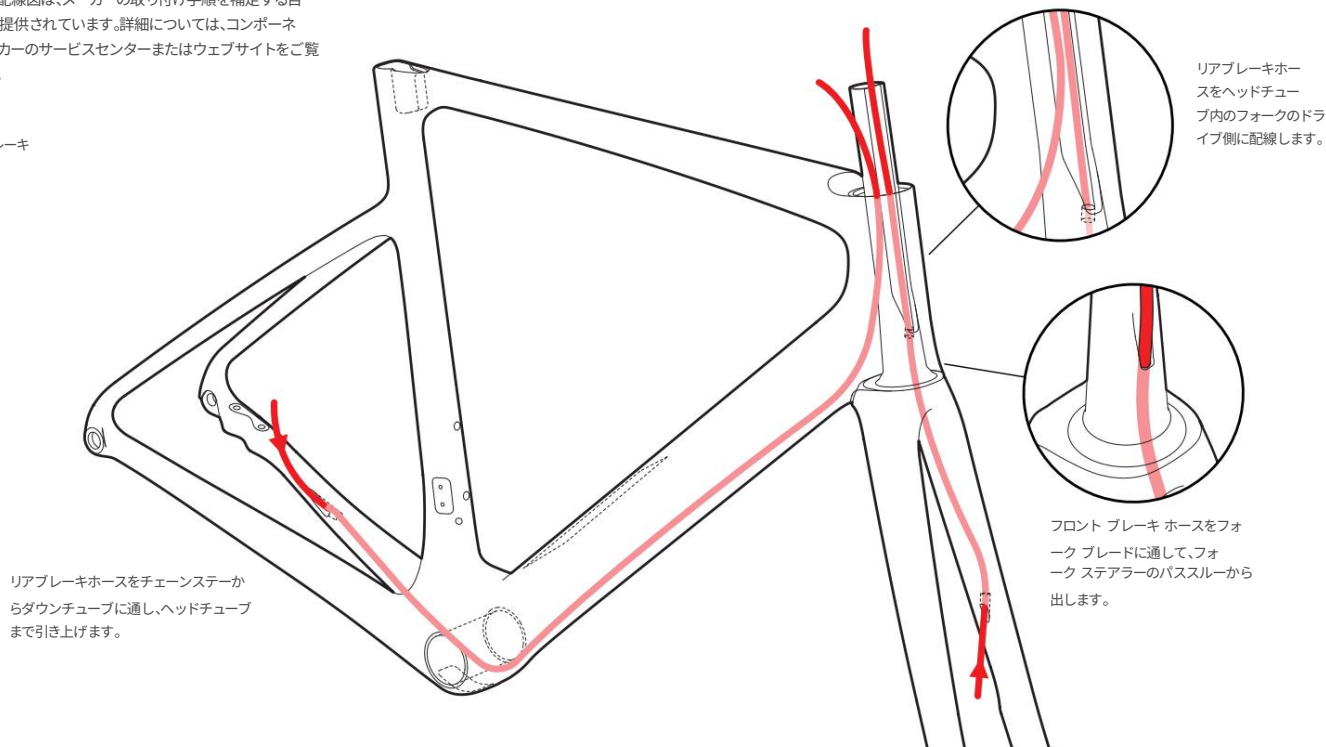
ブレーキホースの配線

最初にリア油圧ブレーキホースを取り付ける

ことをお勧めします。

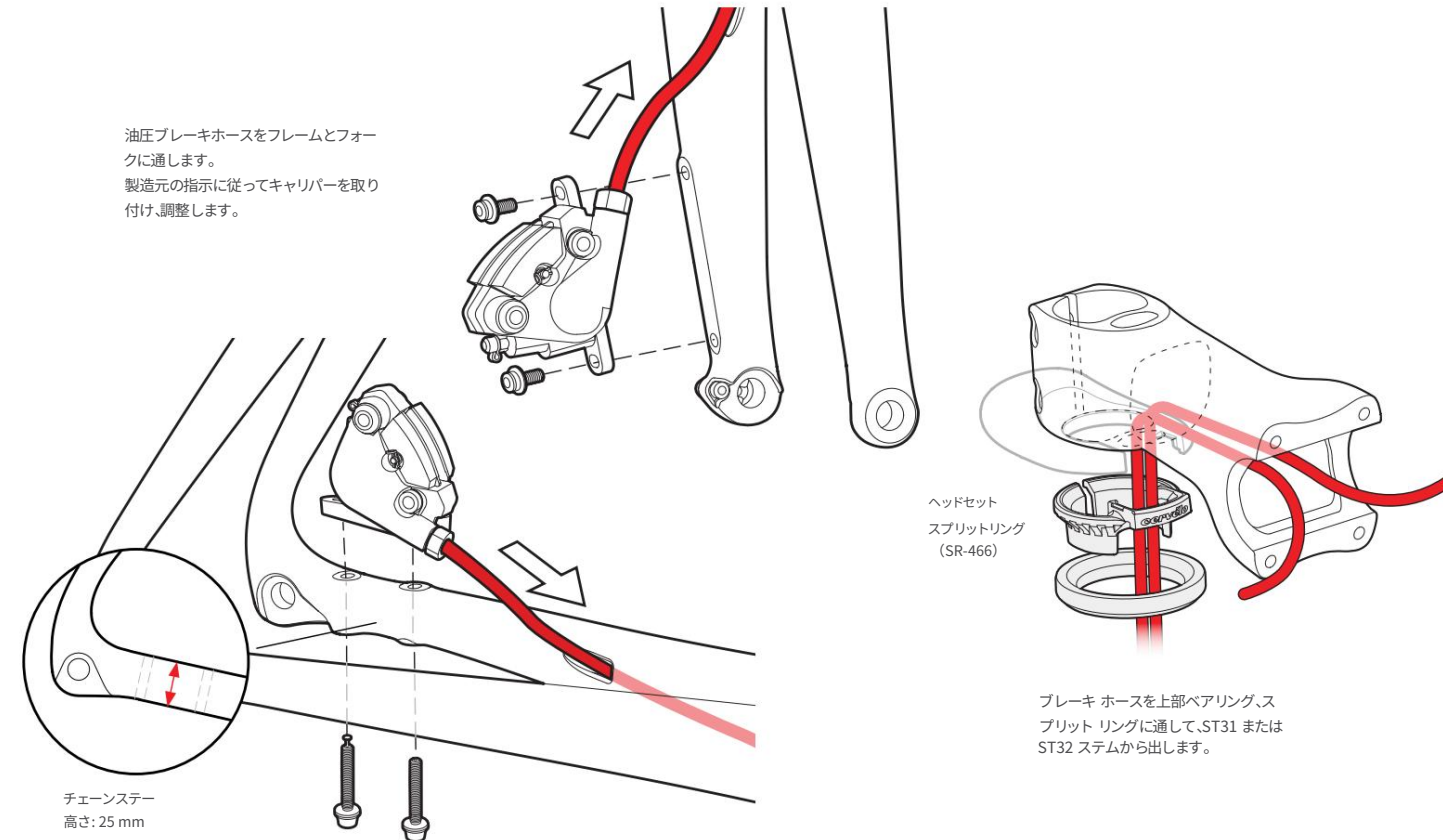
これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

● ブレーキ



リアブレーキホースをチェーンステーからダウンチューブに通し、ヘッドチューブまで引き上げます。

油圧ブレーキホースをフレームとフォークに通します。
製造元の指示に従ってキャリパーを取り付け、調整します。

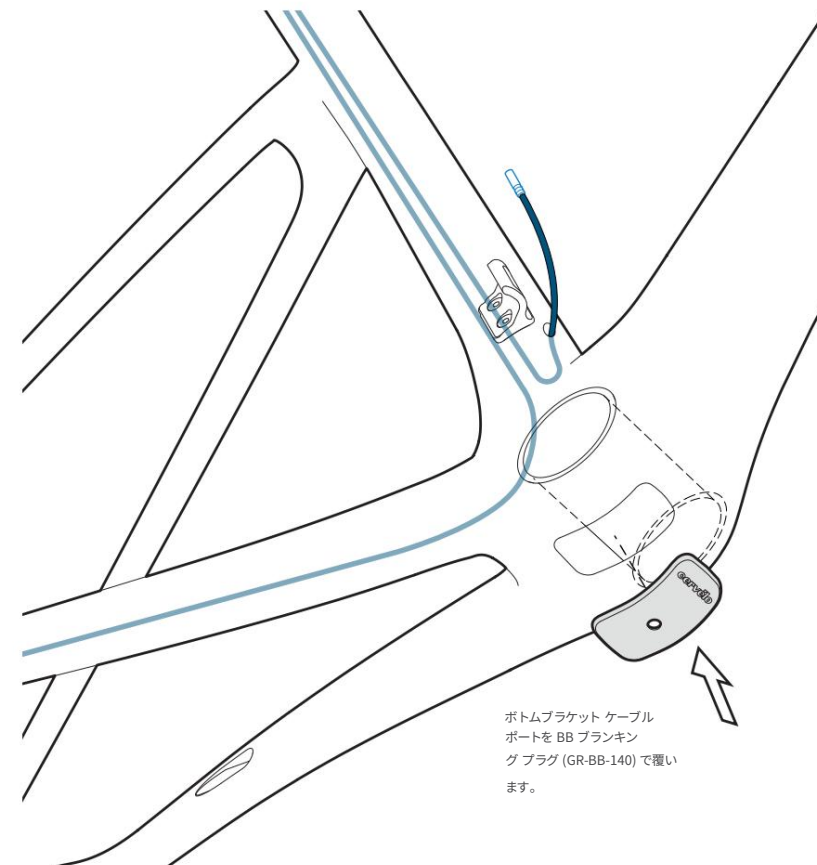
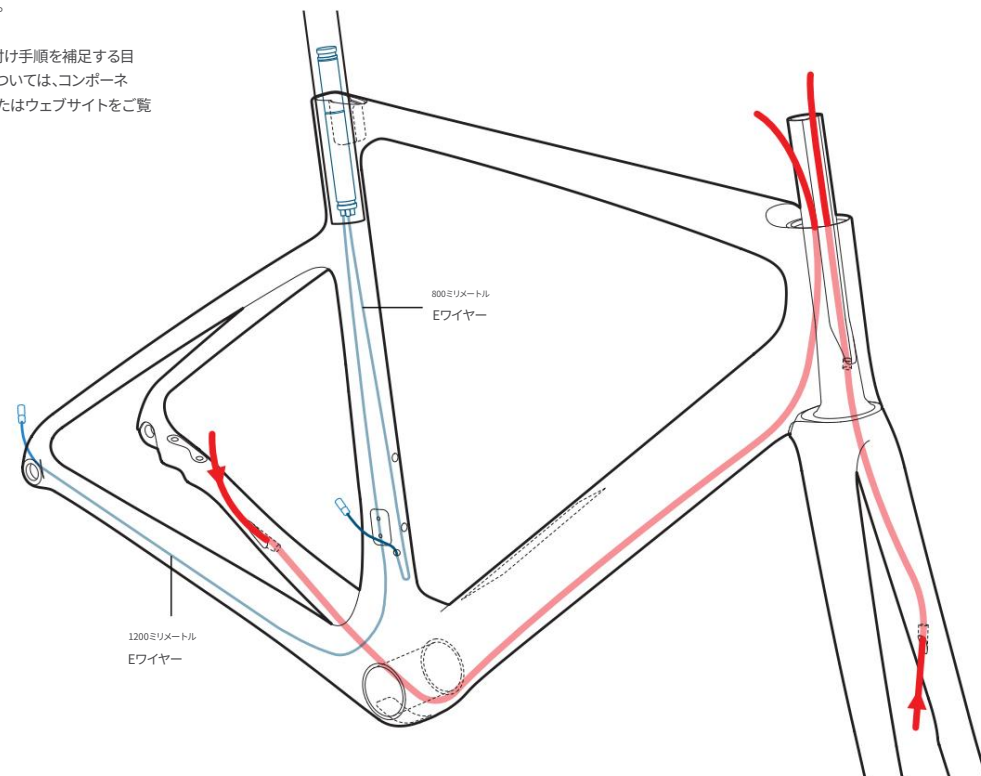


電線配線と設置

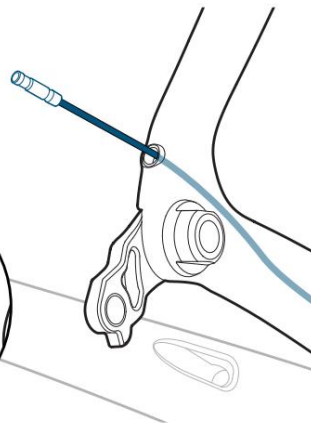
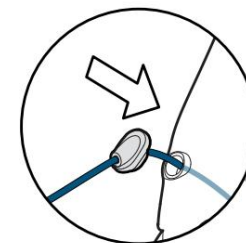
ブレーキ ホースを設置した後、電気ケーブルと接続ポイントを設置することをお勧めします。

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

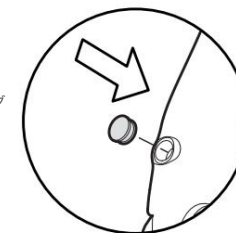
- ブレーキ
- Eワイヤー(SD300)



有線シフト システムの場合は、6
mm 穴用の Shimano EW-
SD300 グロメット (Shimano
から販売) を取り付けます。



ワイヤレスシフトシステ
ムの場合は、ブランキングプラグ
(GR-576)を取り付け
ます。



SP24 シートポストの組み立てと取り付け

1. シートポストの上面にカーボンアセンブリコンパウンドを薄く塗布し、調整スロットの周囲を覆うようにします。

2. クロスバーとサドルクランプベースの間にサドルレールを配置し、シートポストに配置します。

3. 35 mm 球面キャップネジの端のネジ山に Loctite 243 が塗布されていることを確認します。

4. 球面キャップスクリューの頭に軽くグリースを塗ります。アライメントワッシャーを球面キャップスクリューに差し込み、シートポストの裏側から取り付けます (図参照)。左右交互に1/2回転ずつ締め付け、最大トルク7N・mまで締め付けます。

アクセサリマウントキット
リア (MT-LM-R-003)

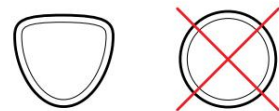
固定ネジを締める

2.5N・mです。

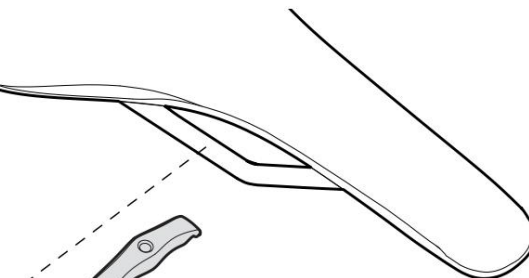
リア上部クランプをアクセサリマウントキットバージョンに交換します。

最大7N・mまで締め付けます。

アクセサリなしで使用する場合は、後部のクロスバーを反転させてクリップを隠すことができます。



Caledonia-5は独自の形状のシートポストを使用しています。Cervéloが提供しているモデル以外のシートポストは使用しないでください。



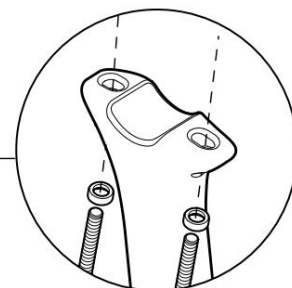
クロスバー

サドル
クランプ
ベース

SP-SP24-ZERO-B

SP-SP24-15MM-B

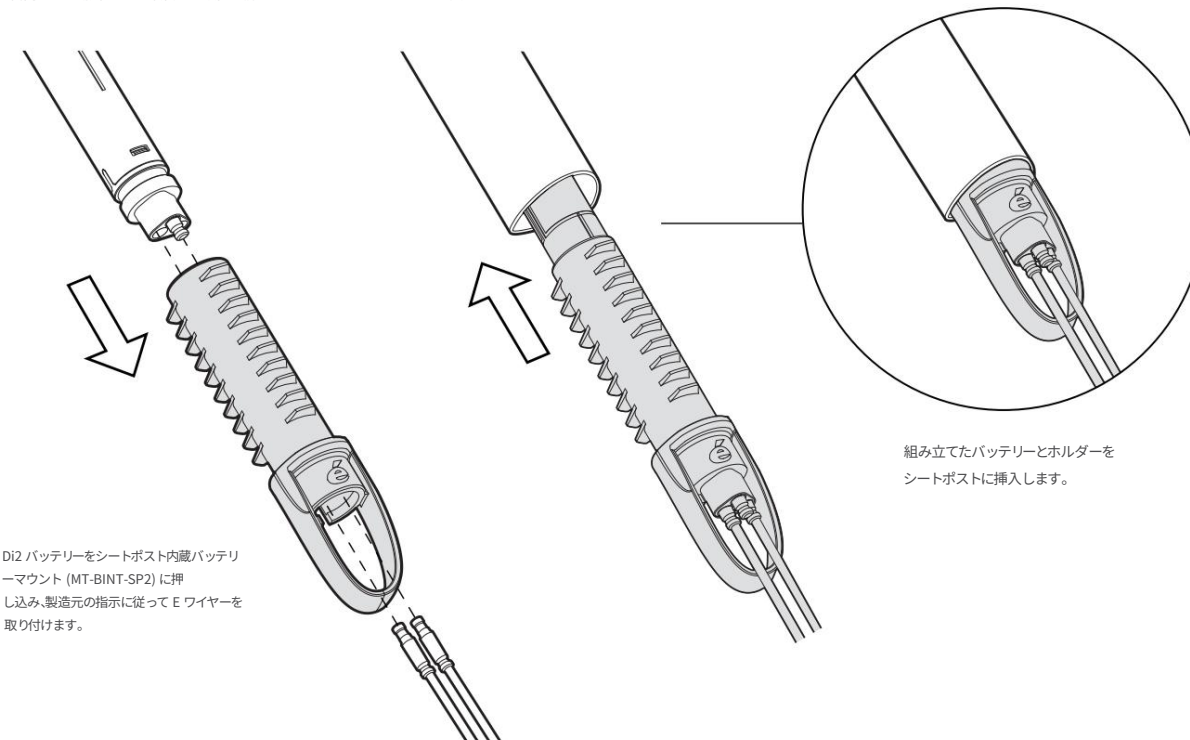
アライメント
ワッシャー &
球状キャップ
ネジ



DI2バッテリーの取り付け

Shimano Di2 システム用のバッテリーは、シートポスト内蔵バッテリーマウント (MT-BINT-SP2) を使用してシートチューブ内に取り付けられます。

これは密閉された場所なので、最終的な設置の前にシステムをテストすることが重要です。

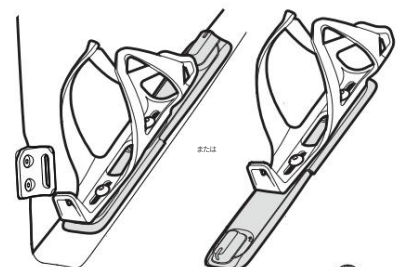


組み立てたバッテリーとホルダーをシートポストに挿入します。

Di2 バッテリーをシートポスト内蔵バッテリーマウント (MT-BINT-SP2) に押し込み、製造元の指示に従って E ワイヤを取り付けます。

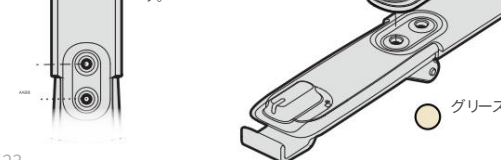
SB05A インフレーム収納ドア

1. シングルボトルケージ: 収納ドアは、低いボトルケージ位置または高いボトルケージ位置に配置できます。

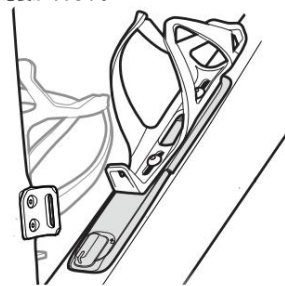


ストレージドアの向きを選択し、軽くグリースを塗布したM5 x 16 mm固定ネジ2本と、クリアランス確保のためのオプションの2.5 mmスペーサー（最大2個）を使用してボトルケージを取り付けます。2~3 N・mで締め付けます。

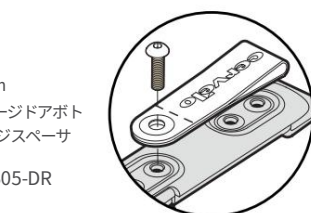
ストレージドア上のボトルケージの位置を微調整するための取り付け穴が上部 (A) と下部 (B) の2セットあります。



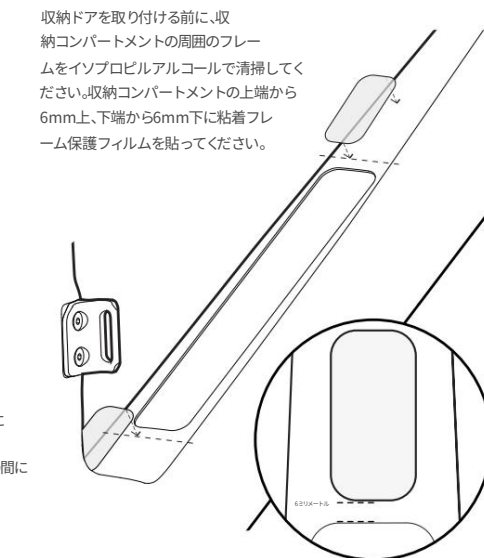
2. デュアルボトルケージ: 収納ドアは、高いボトルケージの位置に向ける必要があります。



ボトルケージを使用しない場合は、ストレージドアプルタブを取り付けます。2~3 N・mで締め付けます。



ストレージドアの取り付けまたは取り外し中にボトルケージとフレームが干渉しないようにするために、ボトルケージとストレージドアの間には最大2つのSB05Aスペーサーを使用してください。



CAUTION
すべてのボトルケージがSB05Aストレージドアと互換性があるわけではありません。選択したボトルケージに最大2個のSB05A 2.5mmスペーサーを取り付けた状態で、ストレージドアの取り外し時にダウンチューブに接触する場合、そのボトルケージはストレージドアと互換性がない可能性があります。互換性のないボトルケージを使用すると、ボトルケージ、フレーム（塗装を含む）、またはストレージドアが損傷するリスクがあり、ストレージドアをフレームから取り外せなくなる可能性があります。

収納ドアを取り付ける前に、収納コンパートメントの周囲のフレームをイソプロピルアルコールで清掃してください。収納コンパートメントの上端から6mm上、下端から6mm下に粘着フレーム保護フィルムを貼ってください。

インストール

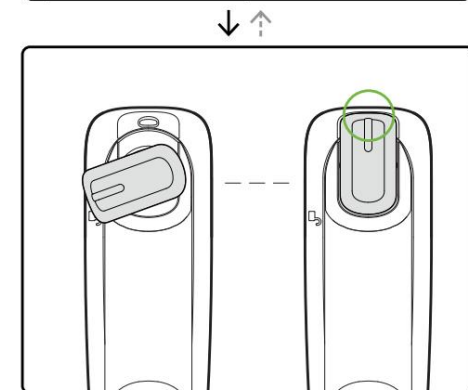
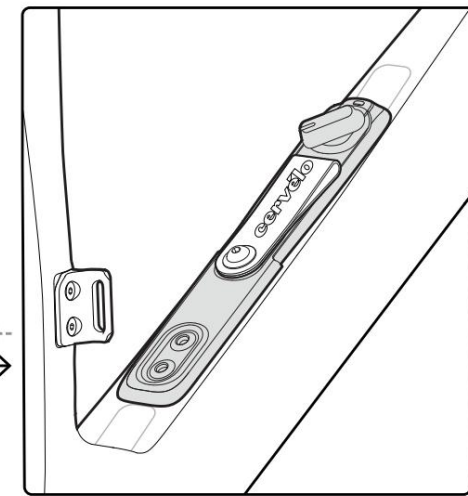
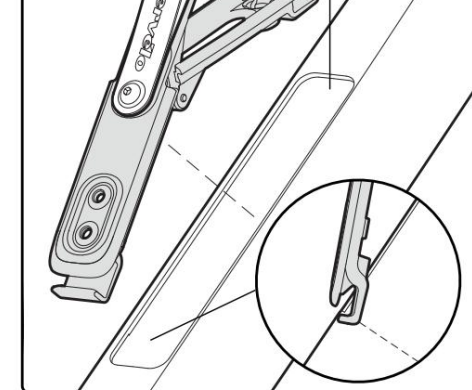
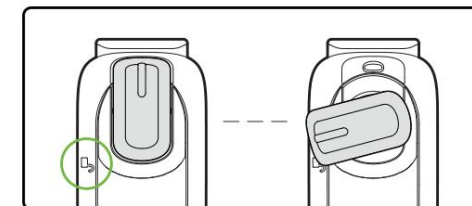
1. ラッチをロック解除アイコンの方向に回して折り曲げます。ストレージドアを開きます。
2. 収納ドアの上部のフック端をダウンチューブ収納コンパートメントに挿入し、上方にスライドします。
3. 下のフック端をダウンチューブに挿入します。収納コンパートメントを開き、収納ドアがカチッと音がするまで押し下げます。
4. ラッチを上まで回して完了です。ロック。

除去

1. ラッチをロック解除アイコンの方向に回します。
2. ストレージにボトルケージが取り付けられていない場合、ドアの場合は、プルタブハンドルを使用して上方に引いて、ストレージドアをフレームから取り外します。
3. ボトルケージが取り付けられている場合は、プルタブの代わりにケージを使用して収納ドアを取り外すことができます。

CAUTION

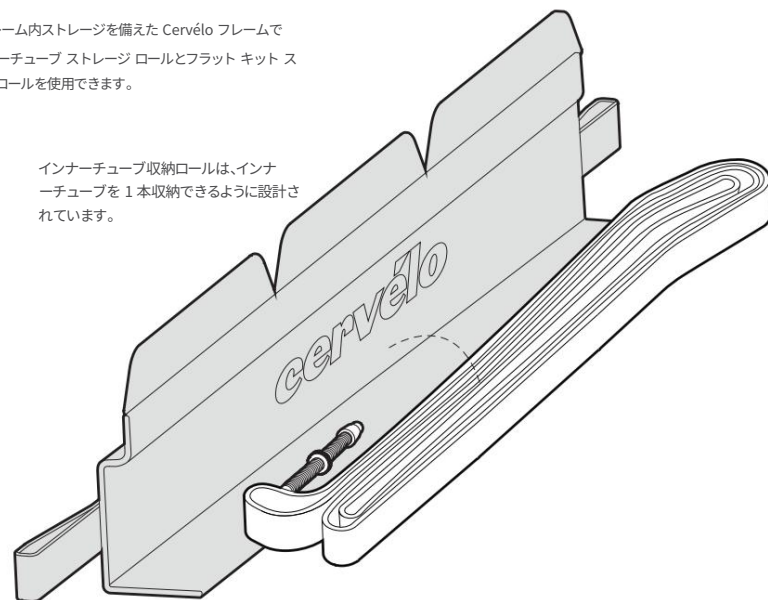
付属のプルタブまたはボトルケージを使用せずにストレージドアを取り外そうとしないでください。ストレージドアのエッジは鋭利なため、フレームからドアをこじ開けようとすると怪我をする恐れがあります。



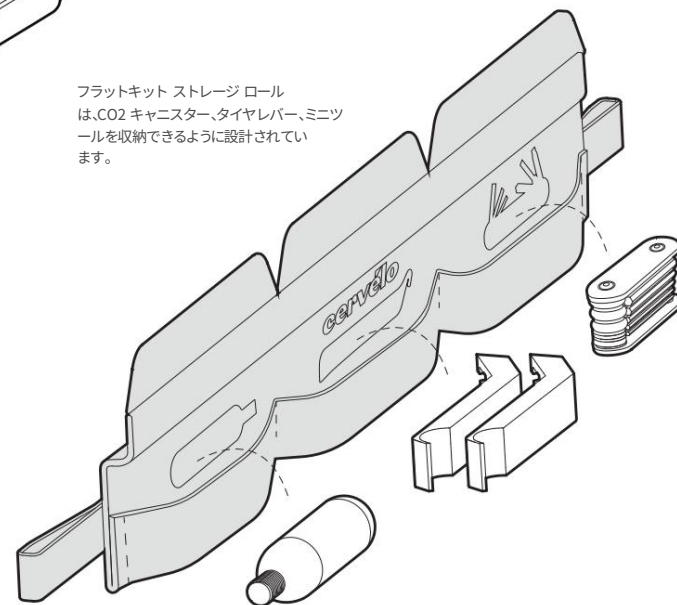
SB05 フレーム内収納ロール

SB05 フレーム内ストレージを備えた Cervélo フレームでは、インナーチューブ ストレージ ロールとフラット キット ストレージ ロールを使用できます。

インナーチューブ収納ロールは、インナーチューブを 1 本収納できるように設計されています。

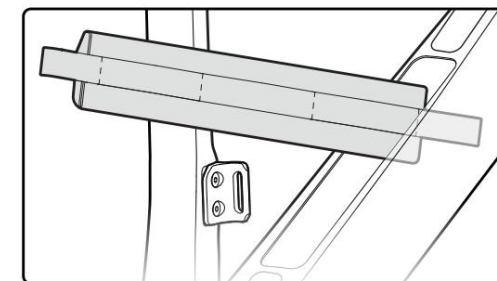


フラットキット ストレージ ロールは、CO2 キャニスター、タイヤレバー、ミニツールを収納できるように設計されています。



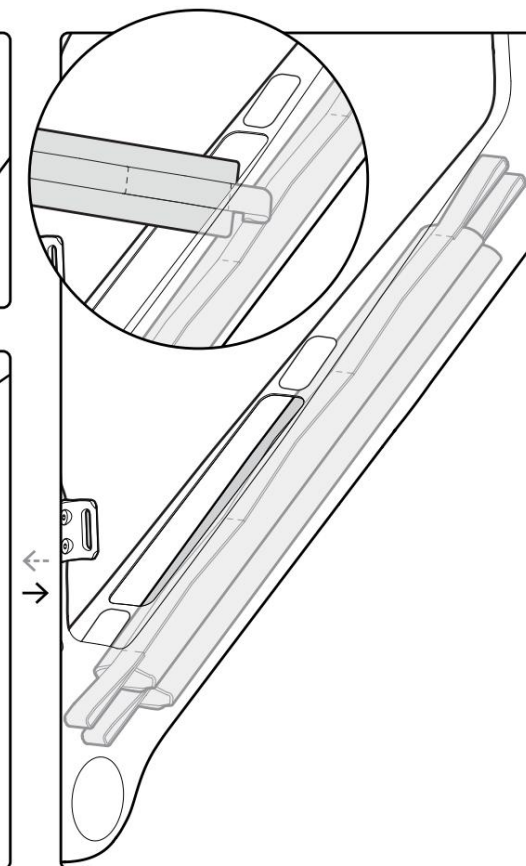
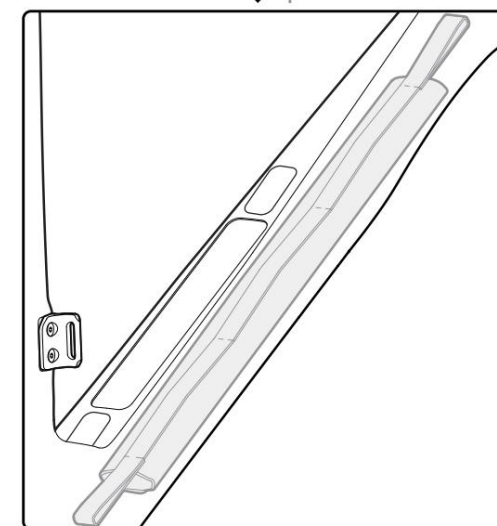
インストール

1. 収納ドアを取り外します。最初のロールを収納部に挿入します。
2. 最初のロールを、プルタグ/ハンドル側を上に向けて、ダウンチューブ内に平らに置かれるように配置します。
3. 同じ手順を繰り返して、2つ目の収納ロールを取り付けます。収納ドアを再度取り付けます。



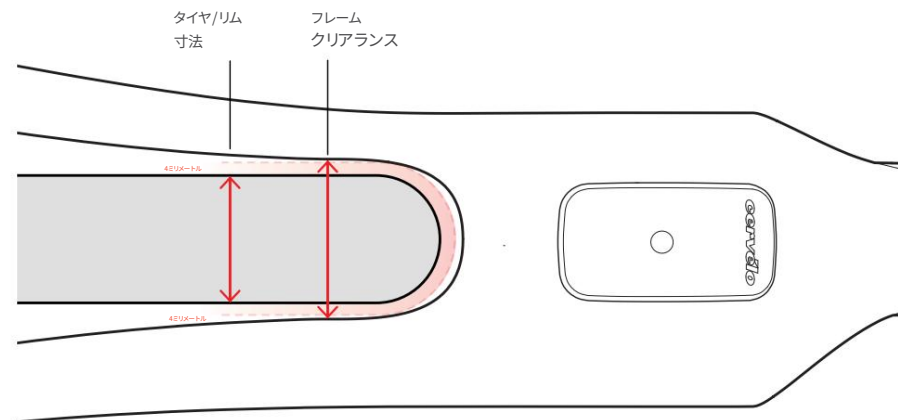
除去

1. 収納ドアを取り外します。最初のロールのタグ/ハンドルを掴み、収納部から取り出します。
2. 同じ手順を繰り返して、2つ目の収納ロールを取り外します。収納ドアを取り付けます。



タイヤ/リムクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. これら2つの数値のうち小さい方（フレームクリアランス）から8mm（片側4mm）を差し引いて、最大許容タイヤ/リム寸法を決定します。
4. タイヤをホイールに取り付けて完全に膨らませた状態で、リムまたはタイヤの幅の大きい方を測定し、計算された許容タイヤ/リム寸法の幅よりも小さいことを確認して、適合することを確認します。
5. 4mmの六角レンチが最小の隙間に入らない場合は、タイヤのクリアランスが不十分です。

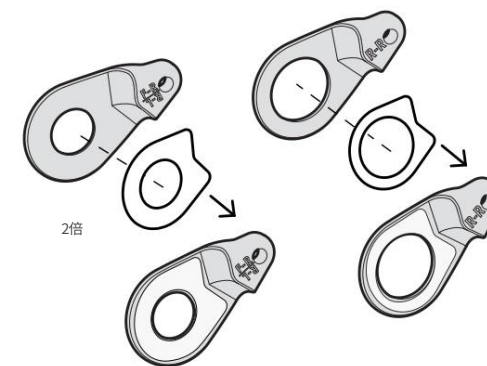
⚠ WARNING

タイヤまたはリムとフレームまたはフォークが接触すると、走行中に制御を失い、重傷や死亡につながる可能性があります。

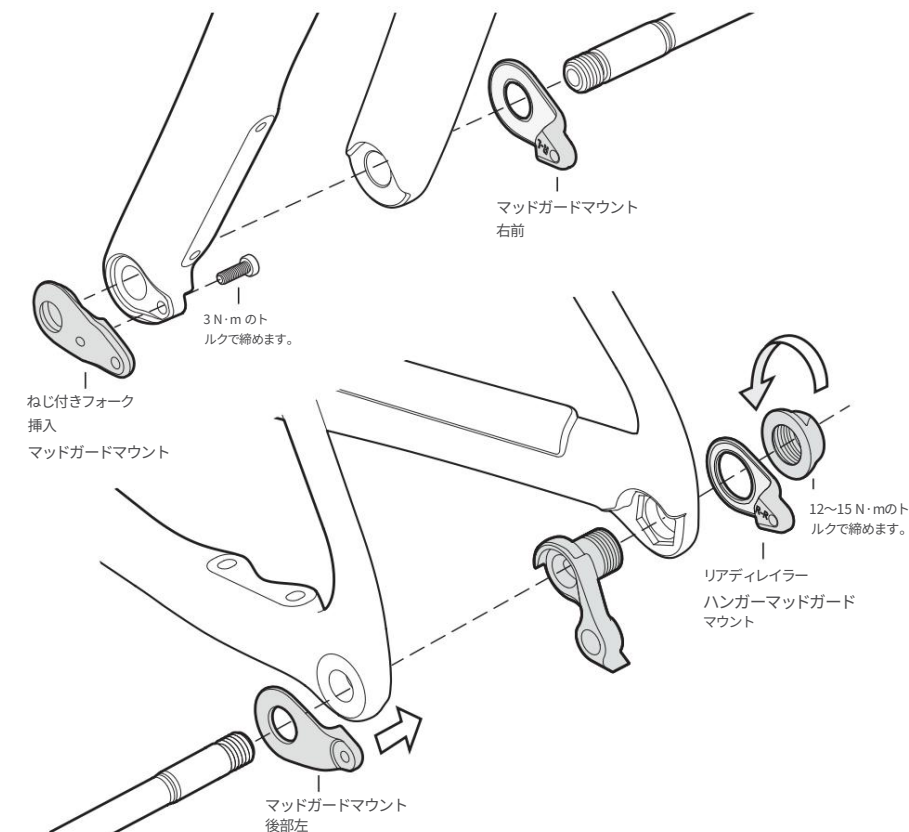
これらのガイドラインに従わなかった場合、Cervélo 限定生涯保証の対象外となるフレームの損傷が発生する可能性があります。

マッドガードの取り付け

1. 既存のねじ付きフォークインサートを取り外します。
2. ねじ付きフォークインサートを取り付けます
13 ページに記載されている標準組み立て手順に従ってマッドガードを取り付けます。
3. マッドガードの内側の面を掃除する
イソプロピルアルコールで取り付け、穴のサイズに合わせて適切なフレーム保護フィルムを取り付けます。



4. リアディレイラーハンガー固定ナットを外し、リアディレイラーハンガーマッドガードマウントを取り付けます。
5. 14 ページに記載されている手順に従って固定ナットを再度取り付けます。



マッドガードの取り付け

6. シートステーマウントブリッジシムを取り付けます
シートステー。

7. シートステー マウント ブリッジをシムを介してシートステーに取り付け、アセンブリがスライドできる程度に固定ボルトを緩めておきます。

8. メーカーの指示に従って、マッドガードをシートステー マウント ブリッジとフォークに緩く取り付けます。

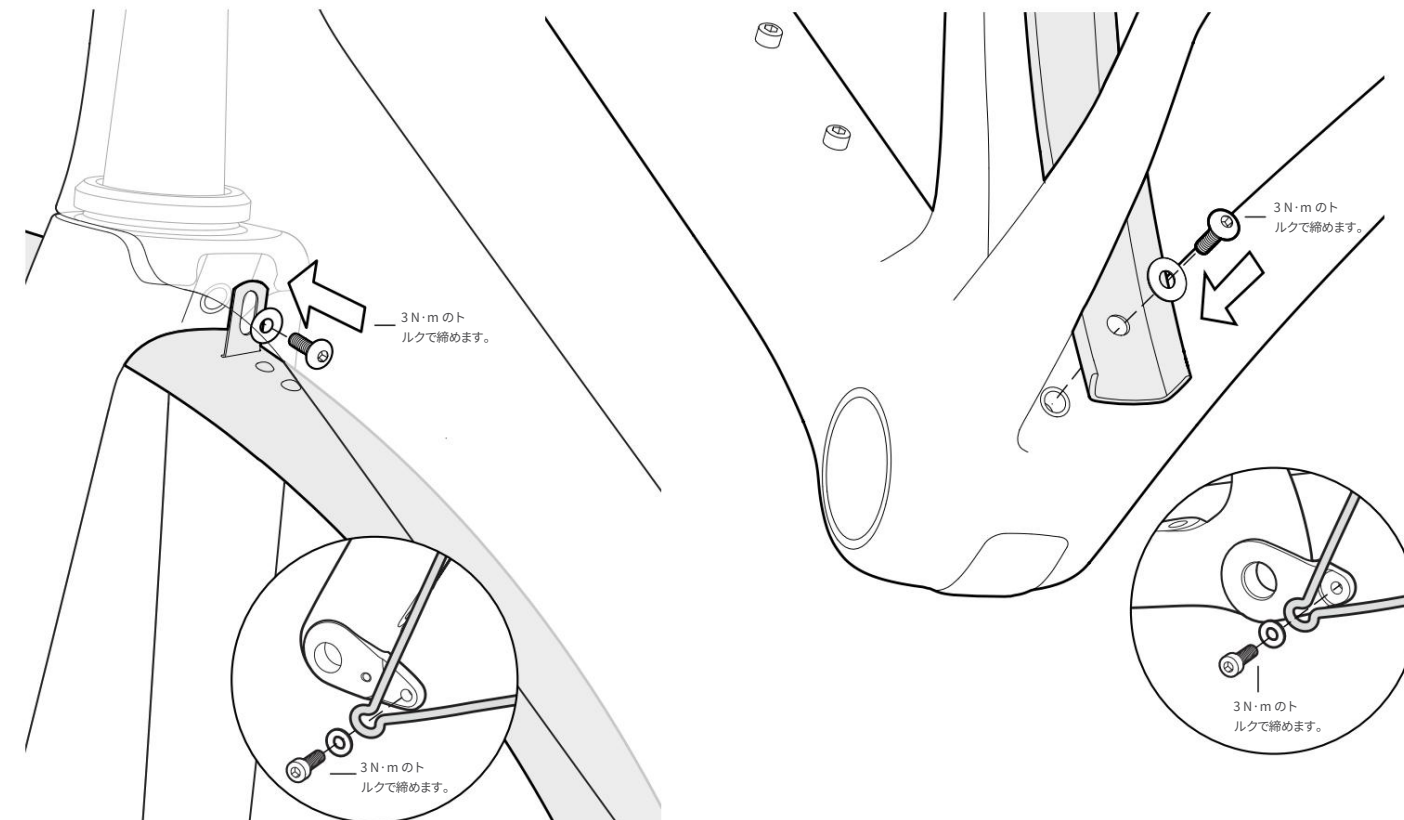
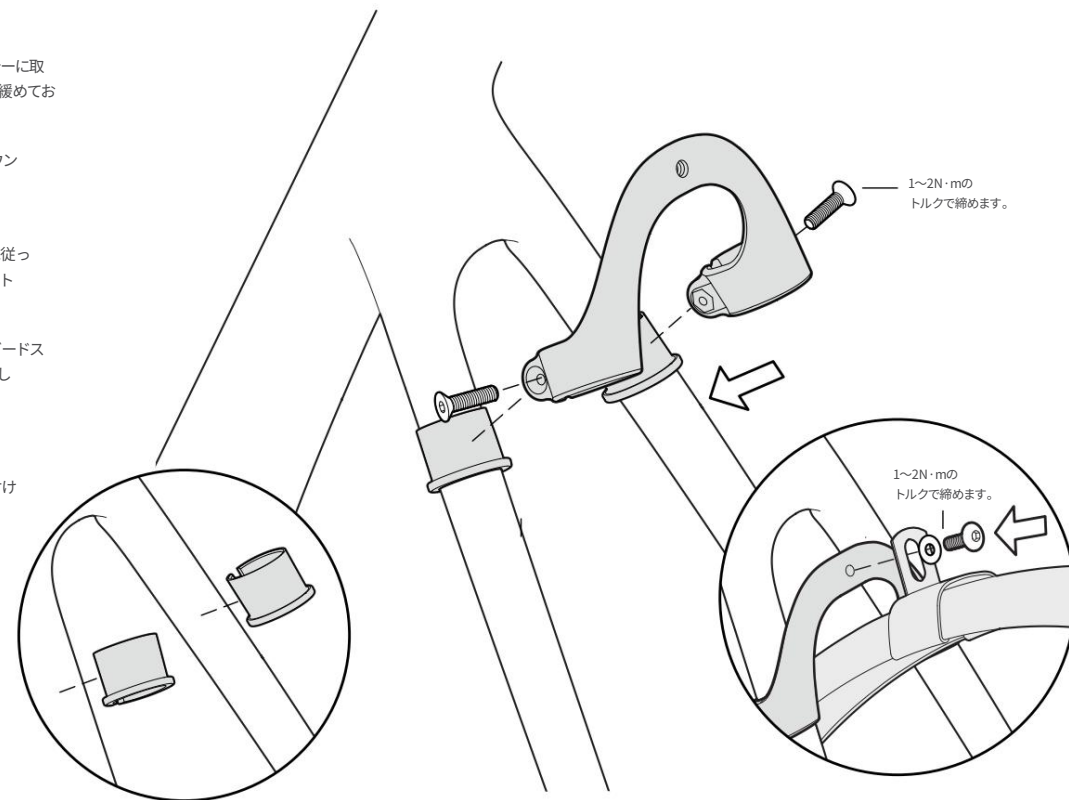
9. 31 ページのフロント ホイール/アクスルの取り付け手順に従って、スルー アクスル マッドガード マウントを含むフロントホイールを再度取り付けます。

10. 軽グリースを塗布したM5固定ネジを使用して、マッドガードステーをマッドガードマウントに取り付け、取り付けを完了します。トルクは3N・mです。

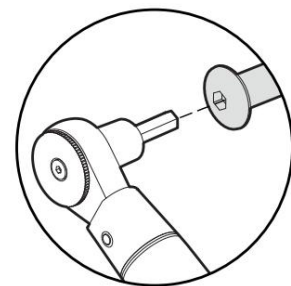
11. フォーク固定ネジを3N・mに締めます。

12. 32ページの後輪/車軸取り付け手順に従って後輪を取り付け直し、マッドガードステーを取り付けます。

インストール
シートステー
マウントブリッジ
シム

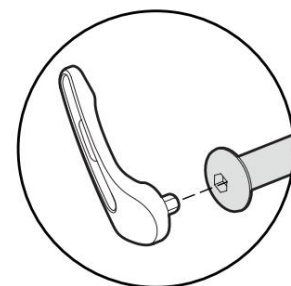


エアロスルーアクスルの取り付け

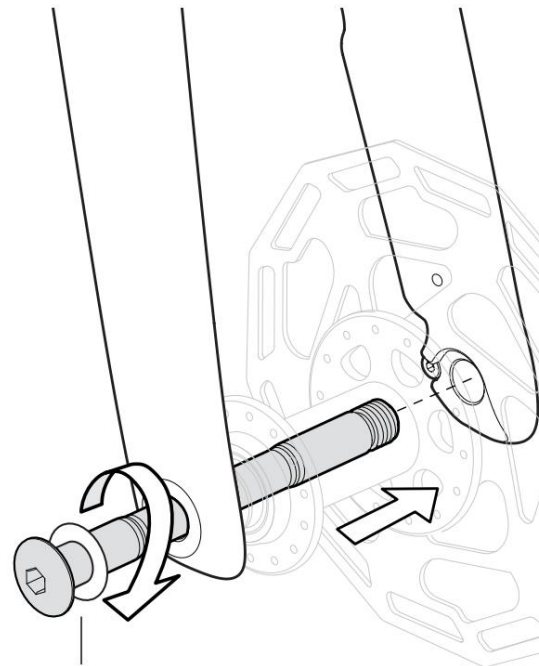


6mm六角レンチ/トルクレンチ

または



サーヴェロエアロ
スルーアクスル付き
取り外し可能なハンドル
(QRA-AERO2-Fおよび
QRA-AERO2-R)



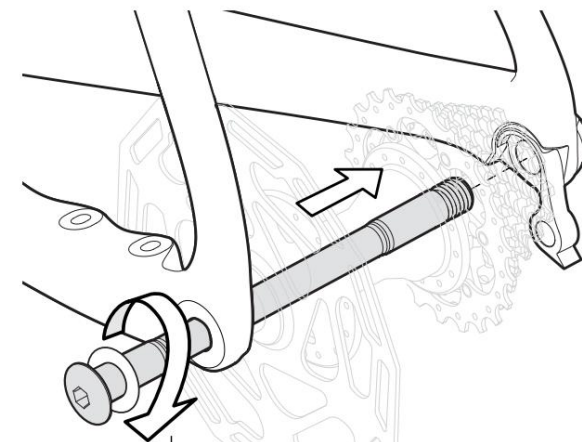
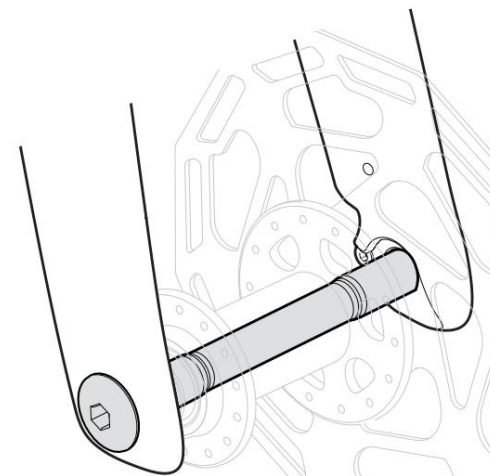
取り付ける場合はスルーアクスルワッシャーがあることを確認してください。

フロントアクスルを12~15 N・mに締めます。

ホイールを固定するには、グリースを塗布したアクスルをドロップアウトとホイールハブに通し、アクスルのネジ端をネジ付きインサートに合わせます。位置が合つかみ合ったら、アクスルをインサートのネジ部分に時計回りにねじ込み、12~15 N・mでしっかりと締め付けます。

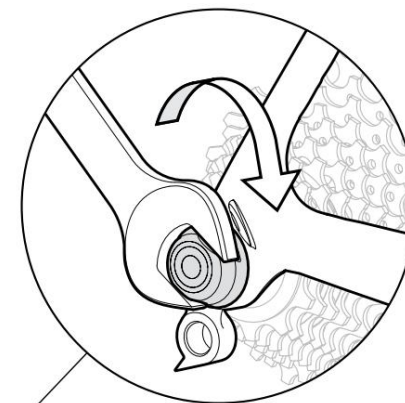
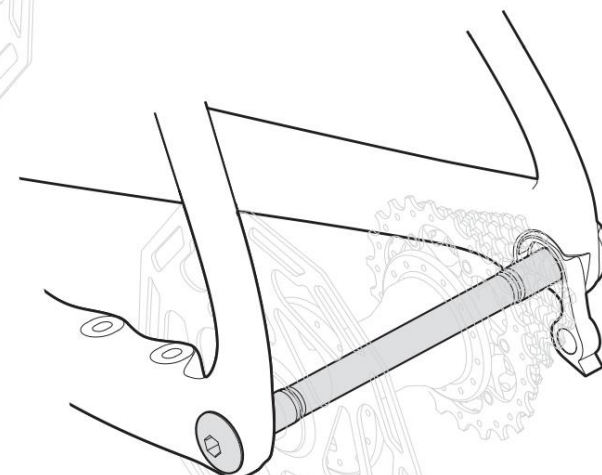
⚠ WARNING

ライダーの安全を確保するためには、Cervelo Aero Thru-Axleを正しく取り付けることが不可欠です。正しく取り付けないと、ライダーが重傷を負ったり死亡したりする可能性のある事故につながる可能性があります。




取り付ける場合はスルーアクスルワッシャーがあることを確認してください。

フロントアクスルを12~15 N・mに締めます。



リアディレイラーハンガーナットを17mmレンチで最終締め付けします。トルクは12~15 N・mです。この締め付けは初期組み立て時のみ行うため、追加の調整は必要ありません。

CALEDONIA-5自転車の用途

**WARNING**
自転車とその用途を理解しましょう。目的に合わない自転車を選ぶと危険です。間違った使い方をすると危険です。

あらゆる用途に適した自転車は存在しません。販売店は、用途に合った最適な自転車を選ぶお手伝いをし、その限界を理解するお手伝いをいたします。

自転車には多くの種類があり、それぞれの種類の中にもさまざまなバリエーションがあります。

マウンテンバイク、ロードバイク、レーシングバイク、ハイブリッドバイク、ツーリングバイク、シクロクロスバイク、タンデムバイクなど、様々な種類があります。また、複数の機能を組み合わせた自転車もあります。例えば、トリブルクランクを搭載したロードバイクとレーシングバイクの融合体です。これらの自転車は、ツーリングバイクのようなローギア比とレーシングバイクのようなクイックなハンドリングを備えています。ツアー中に重い荷物を運ぶのには適していません。そのため、ツーリングバイクを選ぶのがおすすめです。

それぞれの自転車の種類には、特定の目的に合わせて最適化できるものがあります。自転車店を訪れて、興味のある分野の専門家を見つけてください。自分で調べてみましょう。タイヤの選択など、一見小さな変更でも、自転車の性能はある程度向上したり低下したりすることがあります。

目的。

注:使用条件は一般化されており、変化しています。

自転車の使用方法について、販売店または Cervélo カスタマー サポートにご相談ください。

注意： Cervéloの自転車は、自転車、ライダー、荷物の合計重量が100kgまでとなるようテストされています。コンポーネントにはそれぞれ異なる重量制限があり、交換すると自転車の安全最大重量が変わる場合があります。お客様の自転車に適したコンポーネントについては、販売店またはCervéloカスタマーサービスにお問い合わせください。

最大重量制限 - Cervélo Caledonia-5

ライダー	194ポンド	88キロ
ギア*	11ポンド	5キロ
合計	220.5ポンド	100キロ

※シートバッグ/ウォーターボトル/弁当バッグ/ハンドルバーボトル/収納マウントのみ

高性能道路-条件2

コンディション1に加え、未舗装路、砂利道、中程度の勾配のトレイルでの走行を想定して設計された自転車です。不整地への接触やタイヤの接地性の低下が発生する可能性があります。ドロップは6インチ（15cm）以下に抑えてください。

舗装道路、状態の良い砂利道や未舗装道路、自転車道に適しています。

オフロードやマウンテンバイクでの使用、またはあらゆる種類のジャンプには適していません。

一部の自転車には、比較的幅広のタイヤが装備されており、砂利道やダートロードに適しています。一方、比較的幅狭のタイヤが装備されており、舗装路での高速走行に最適です。砂利道やダートロードを走行する場合、重い荷物を積載する場合、またはタイヤの耐久性を高めたい場合は、正規販売店に幅広のタイヤについてご相談ください。ラックやバニアケースを装着したツーリング、チャイルドシートやトレーラーの取り付けには適していません。

CALEDONIA-5 トルク仕様

ねじ留め具の正しい締め付けトルクは、安全のために非常に重要です。常に正しいトルクで締め付けてください。このマニュアルの指示とコンポーネントメーカーの指示に矛盾がある場合は、販売店またはCervéloカスタマーサービスにご相談ください。締め付けがきつすぎると、ねじが伸びて変形する可能性があります。締め付けが緩すぎると、ねじが動いて疲労する可能性があります。どちらの場合も、ねじの突然の破損につながる可能性があります。

正しく校正されたトルクレンチのみを使用してください。

自転車の重要なファスナーを締め付けます。正確な結果を得るには、トルクレンチメーカーの指示に従って設定と使用方法をよく読んでください。ご自身で調整を行う前に、必ずすべての関連文書を読み、適切な工具を揃えてください。

小売業者は適切なツールと経験を有しており、調整が確実に正しく行われるようにするため、以下の調整は小売業者に実行させることをお勧めします。


ボルトを組み立てて締め付ける前に、すべてのねじ山に高品質の非リチウム系グリース（Park Tool HPG-1または同等品）をたっぷりと塗布してください。ただし、ボルトにLoctite®ねじロック剤が塗布されている場合は除きます。すべてのボルトにはグリースまたはLoctiteのいずれかを塗布してください。両方を塗布することは絶対に避けてください。すべてのねじ山付きファスナーの締め付けには、特定のトルク設定に適した目盛りのトルクレンチの使用を強くお勧めします。

Cervéloは、カーボンアセンブリコンパウンド/摩擦ベースト（ダイナミック組立用コンパウンドカーボンまたは同等品）

成分	トルク(N・m)	注記
フレームとフォーク		
フロントディレイラーマウント	3 N・m	固定ネジに Loctite 243 を塗布します。
ボトムブラケット - プレスフィット	35〜50 N・m	フレーム内のBBシェルの内側を清掃し、グリースを塗布します。BBカップの外側にもグリースを塗布します。BBプレスツールを使用して、非駆動側（NDS）カップをフレームのNDS側に面一になるまで押し込みます。DSカップをフレームの駆動側に取り付け、NDSカップに接触するまで手で押し込みます。トルクレンチを使用して、BBのDSカップをフレームと面一になるまで締め付けます。
リアディレイラーハンガー固定ナット	12〜15 N・m	RDHのネジ山にグリースを塗り、固定ナットを指で締めてドロップアウトに取り付けます。リアアクスルを取り付け、2回転締めて位置を合わせます。RDH固定ナットを規定トルクで締めます。
ウォーターボトルケージボルト	2 N・m	固定ネジに軽くグリースを塗ります。
フエンダー取り付けネジをフレームに取り付ける	3 N・m	固定ネジに軽くグリースを塗ります。

シートポストとフレーム、ステムとフォーク、ハンドルバーとステムの接合部など、カーボンファイバーへのクランプ部分すべてに使用できます。このベーストを使用する利点としては、腐食電位の低減と、所定の荷重を支えるために必要なクランプ力の低減が挙げられます。ペー

ストをクランプ部分のカーボン表面に均一に塗布し、以下の推奨事項に従って該当するボルトを締め付けてください。

**WARNING**
以下のリストと、元の装備コンポーネントの推奨トルク値に関するサ
ブライヤーの資料との間に不一致または矛盾がある場合は、取
り付け前に Cervélo カスタマー サポートに連絡して、必要なト
ルクの確認と説明を受けてください。

成分	トルク(N・m)	注記
フレームとフォーク		
フォークドロップアウトインサート	3 N・m	固定ネジに軽くグリスを塗ります。
フォークステアラー圧縮プラグ	8 N・m	固定ネジに軽くグリスを塗り、推奨トルクで締めます。
フェンダーマウントネジをフォークに取り付ける	3 N・m	固定ネジに軽くグリスを塗ります。
幹		
ステムからフォークまでのステアラーチューブ	5 N・m	固定ネジに Loctite 243 を塗布し（塗布されていない場合）、均等に交互に推奨トルクまで締めます。
ステムからカーボンハンドルバーへ	6 N・m	ステム本体とフェースプレートのハンドルバーとの接触面にカーボンアセンブリペーストを塗布します。 固定ネジに Loctite 243 を塗布し（塗布されていない場合）、均等に交互に推奨トルクまで締めます。
アクセサリマウント - フロント	2 N・m	固定ネジに軽くグリスを塗ります。
ハンドルバー		
ブレーキ/シフトレバー（ハンドルバーへ）	6〜8 N・m	ブレーキ/シフトレバーの取り付けについては、製造元の指示を参照してください。
シートポストクランプ（フレームからシートポストへ）		
ウェッジクランプ - 丸型（前面）	8 N・m	シートポストとフレームの間にカーボンアセンブリコンパウンドを使用します。
サドル（シートポストヘッドボルト） - SP24 カーボン		
2ボルトヘッド	7 N・m	ボルトのネジにLoctite 243を塗布します。
ホイール		
取り外し可能なハンドル付きCervéloエアロスルーアクスル	12〜15 N・m	6 mm 六角レンチタイプのレンチまたは取り外し可能なハンドルを使用する必要があります。
他の		
SB05A 収納ドア用ウォーターボルト固定具 ネジ	2〜3 N・m	固定ネジに軽くグリスを塗ります。
ペダル	25〜35 N・m	製造元の指示を参照してください。

CALEDONIA-5 フレーム詳細

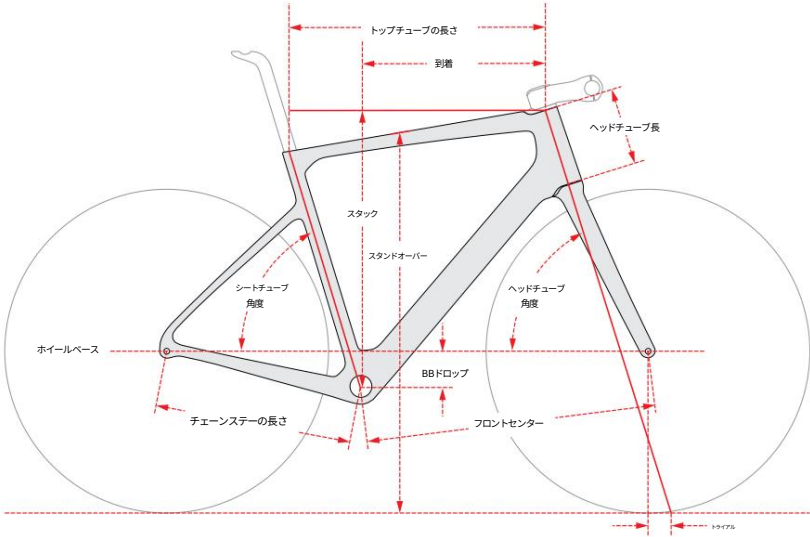
カレドニア5（FM158）	
バイク名	カレドニア-5
モデル年	2025
シリアル番号コード	SN158
フレームコード	FM158
フォークコード	FK158
ブレーキマウントタイプ	フラットマウントディスク
チェーンステ어의高さ（フラットマウント）	258ミリメートル
フレームサイズ	48/51/54/56/58/61
ホイールサイズ	700センチ
BBタイプ	BBRight
ヘッドセットの種類	一体型1-1/4インチ x 1-1/2インチ
上部ヘッドセットベアリング寸法	1-1/4インチ、34 x 46.8 x 7.45° x 45°
下部ヘッドセットベアリング寸法	1-1/2インチ、40 x 51.8 x 7.5、36° x 45°

* タイヤの測定は、タイヤがリムに取り付けられて空気が入った状態で、タイヤの最も広い部分で行います。タイヤとフレームまたはフォーク要素の間には 4 mm の距離が必要です。

カレドニア5（FM158）	
最大チェーンリングサイズ 1x	60t、チェーンライン44.5mm
最大チェーンリングサイズ 2倍	外側55t / 内側42t
シートポスト	SP-SP24-ZERO -B SP-SP24-15MM -B
シートポストクランプ	SPC-287A
RDハンガー	DRH-WMN112
RDハンガー（シマノDM）	DRH-HR
FDハンガー	FDM-0E0
フロントアクスル寸法	長さ127 mm、M12 x 1.5、ねじ長さ11 mm、100 x 12間隔用
リアアクスル寸法	長さ170.5 mm、M12 x 1.75、ねじ長さ12 mm、142 x 12間隔用
最大タイヤ幅（実寸）	36 mm（4 mmのクリアランス付き）*

カレドニア5 フレームジオメトリ

カレドニア-5 (FM158)	48 cm 51	cm 54 cm	56 cm 58	cm 61 cm		
リーチ mm	360	369	378	387	396	405
スタック mm	505	530	555	580	605	630
ボトムブラケット ドロップ mm	76.5	76.5	74	74	71.5	71.5
チェーンステー長さ mm	415	415	415	415	415	415
シートチューブ角度	74.5度	74度	73.5度	73度	73度	73度
ヘッドチューブ角度70.5		71.5度	72度	72度	72度	72度
フォーク長 (アクスルから クラウンまで) mm	385	385	385	385	385	385
フォークオフセット mm 60		54	51	51	51	51
フロントセンター mm 580.5	582.7 592.5	609.5 627				644.1
ヘッドチューブ長 mm	89.8	110.3	136.3 162.6	191.5 217.8		
ホイールベース mm 983.3 985.6	996.3 1013.4	1031.8 1048.9				
スタンドオーバーハイト mm	701	743	775	798	824	847
シートチューブ長 mm	412	460	493	517	540	564
トップチューブ長 mm	502	522	543	565	581	598



機械的安全性チェック

注：Cervéloでは、新しい自転車をご使用後30〜60日で、正規販売店に初回点検をご依頼いただくことをお勧めしています。これは、新しい自転車によくある、馴染んだり、伸びたり、あるいは自然にへたったりした部品を点検するための重要なサービスです。初回点検では、Cervélo自転車の安全性、性能、耐久性を長期にわたって向上させるために必要な調整を行います。

毎回乗る前に:

1. フレームとフォークに、傷、ひび割れ、へこみ、変形、変色など、負荷のかかった跡がないか確認してください。チェーンステアーガードを点検し、正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。
2. 前輪がフォークに、後輪がフレームにしっかりと取り付けられていることを確認します。
3. 車輪がまっすぐ回転することを確認する
フォークとスイングアーム。ホイールはブレーキの擦れがなく、スムーズに回転するはず。
4. タイヤの空気圧が推奨範囲内であることを確認する
タイヤとリムの範囲。
5. ブレーキレバー、キャリパー、ローター、ブレーキパッド、ブレーキラインなど、ブレーキを点検します。取り付けボルトが正しく締め付けられていることを確認してください。

ブレーキレバーを握って、キャリパーが閉じて自転車が前後に動かないことを確認してください。ブレーキレバーが接触してはいけません。
ハンドルバーを最大限まで押し込んだ場合でも、

6. ハンドルとステムが正しく取り付けられていることを確認する
前輪に対して位置と位置合わせが行われます。
ステムボルトが正しく締められているか確認してください。
傷、ひび割れ、へこみ、変形、変色など、ストレスの兆候がないか検査します。
7. サスペンションを循環させて、正常に機能することを確認します。
支柱にゴミなどがある場合は清掃してください。
サスペンション システムが好みに応じて設定されていることを確認します。
8. 照明システムと反射板が正常に機能していることを確認します。
9. サドルとシートポストが正しく位置し、締め付けられていることを確認してください。サドルはフレームのトップチューブと一直線になっている必要があります。
10. シフト操作がスムーズに行われるか確認し、必要に応じて調整します。
11. ペダルとシューズに保持システムの妨げになるようなゴミがないことを確認します。
12. 高品質のチェーン潤滑剤 (Park Tool CL-1 または同等品) を使用してチェーンに潤滑油を塗ります。

毎週 (約100マイル) :

1. すべてのボルトが適切なトルクで締め付けられていることを確認してください。ペダルやその他の付属品も必ず確認してください。
2. リムに損傷の兆候がないか確認し、スポークが緩んでいないか確認します。
3. 自転車を洗浄します。高圧洗浄機、強力な化学洗浄剤、溶剤は使用しないでください。また、圧縮空気で乾燥させないでください。

ヘッドチューブ、ボトムブラケット、ホイールベアリングに直接スプレーしないでください。

4. タイヤの損傷や摩耗を確認して
状態は良好です。
5. サスペンション部品のダストシールにひび割れや漏れがないか清掃します。
6. 電子ドライブトレイン、サスペンション、またはアクセサリ コンポーネントのバッテリー レベルを確認します。

毎月 (約400マイル)

1. シフターとブレーキ ケーブル/ホースに摩耗、漏れ、ほつれ、錆、その他の損傷がないか確認します。
2. 通常の操作時にケーブルが引っ張られたり、他の部品に引っかかったりしないことを確認します。

機械的安全性チェック

1. ボトムブラケットが締め付けられていることを確認します
適切なトルク仕様でクランクアームを回転させ、摩擦、異音、ガタがないことを確認してください。必要に応じて調整またはオーバーホールを行ってください。販売店にご相談ください。

2. フロントブレーキがロックされているときにヘッドセットが遊びがなく、正しく調整されていることを確認します。
必要に応じて調整またはオーバーホールしてください。販売店にご相談ください。

3. チェーンの張りが適切であることを確認します。
チェーンに破損部分、ねじれ、錆などがないか点検します。

4. ブレーキパッドが摩耗していないか確認する（1 mm未満の場合は交換）

5. チェーンステアガードとボトムブラケットを確認する
摩耗に備えたガード。

6. ホイールハブがスムーズに作動するか（緩みや摩耗がないか）確認してください。必要に応じて調整またはオーバーホールを行い、販売店にご相談ください。
3. タイヤのシーラントレベルを確認する（チューブレスの場合）
設定）。

4. サスペンション部品の摩耗や損傷を点検します。

5. フレームピボットベアリングを清掃して点検します。
ショックリンク、ピボットアックスル。高品質の自転車用グリース（Park Tool HPG-1または同等品）を使用して部品にグリースを塗り直し、摩耗または損傷している場合は交換してください。チューブレス仕様の場合は、タイヤのシーラントレベルを確認し、1mm未満の場合は交換してください。

6. チェーンステアガードとボトムブラケットを確認する
摩耗に備えたガード。

7. フレームピボットベアリングを清掃して点検します。
ショックリンク、ピボットアックスル。高品質の自転車用グリース（Park Tool HPG-1または同等品）を使用して部品にグリースを塗り直し、摩耗または損傷している場合は交換してください。

毎年（約6000マイル）

1. 販売店で年次サービス（フレーム、サスペンション、その他すべてのコンポーネントのオーバーホール サービスと検査）を実行します。
2. 必要に応じて部品の修理、メンテナンス、交換を行います。
3. 部品メーカーの推奨に従って、すべての部品を洗浄し、潤滑します。

説明書を参照するか、販売店にご相談ください。

4. サービス手順と間隔を確認する
自転車はwww.cervelo.comで
5. コンポーネント製造元の指示に従って、ブレーキのブリーディングとサスペンションのオーバーホールを実行します。

注意：このセクションでは、自転車の安全な運転を確保するためのガイドラインを示しますが、完全な安全点検とみなすべきではありません。これらのガイドラインに従うことで、自転車の性能を維持し、より深刻な問題の発生を防ぐことができます。

特定のコンポーネントのサービス手順については、メーカーのウェブサイトをご覧ください。自転車に問題が見つかり、修理できない場合は、Cervélo正規販売店に自転車をお持ち込みいただき、サービスを受けてください。サービス間隔は、気候、トレイルの状況、走行頻度によって異なる場合があることにご注意ください。

⚠ WARNING

衝突や事故に遭った場合は、必ずプロの自転車整備士に点検してもらい、安全に乗れるかどうかを確認してください。損傷した自転車に乗るのは危険であり、重傷や死亡につながる可能性があります。

サーヴェロ カスタマーサポート

カスタマーサポートへのお問い合わせ
Cervélo への質問やサービスおよびメンテナンス サポートについては、www.cervelo.com/contact-us にアクセスしてください。

製品登録
www.cervelo.com/support/registrationをご覧ください。
MyCervélo アカウントを通じて Cervélo 自転車を登録します。

マニュアル
Cervélo 製品の詳細については、www.cervelo.com/product-manuals をご覧ください。



保証
Cervélo の保証ポリシーの詳細については、www.cervelo.com/warranty をご覧ください。

2025 CALEDONIA-5 組立マニュアル

www.cervelo.com

CER-CFB-V1 2024-07-20

cervelo